

平成28年度
和歌山市立博物館館報

No. 32

目 次

I 事業概要

1. 展観事業

常設展示	2
春季特別陳列	2
夏季特別展	4
秋季特別展	7
冬季特別陳列	11
ホール展示	12
コーナー展示	12

2. 教育普及事業

史跡散歩	12
体験学習	13
市博講座等	14
わかやま歴史講座	14
古文書講座	14
校区探検	14
回想法プログラム	15
博物館実習	15
ミュージアムボランティア	15
職場体験	16
ウェブサイト	16

3. 調査研究事業

職員の執筆文献	16
職員の教育普及活動	17

4. 市史資料管理事業

II 収蔵資料概要

1. 購入資料概要	18
2. 受贈資料概要	18
3. 受贈図書概要	19
4. 資料の貸出	30
5. 映像資料概要	30

III 平成29年度の展望

1. 平成29年度事業予定概要	32
2. 平成29年度博物館当初予算	35

IV 資料

入館者の動向	35
アンケートの集計	37
館機構	38
博物館職員	38
和歌山市立博物館協議会委員名簿	39
和歌山市立博物館条例	40
和歌山市立博物館条例施行規則	42

I 事業概要

1. 展観事業

○常設展示

1階の常設展示室（約1,000㎡）では、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマとして、原始・古代・中世・近世・近代・民俗の6つのコーナーに分け、それぞれに関連資料を展示している。

各コーナーでは、随時資料の展示替えを行っている他に、民俗及び近世部門の一部の展示ケースを利用して「コーナー展示」を定期的を実施している。

○春季特別陳列

「徳川吉宗と紀州の明君」

〈開催期間〉4月16日（土）～5月29日（日）

〈開催日数〉36日

〈入館者数〉2,062名

〈開催趣旨〉

和歌山出身の徳川吉宗は、享保元年（1716）江戸幕府の8代将軍に就任した。同年4月に7代将軍の徳川家継が幼くして病死したため、紀州藩主の吉宗が将軍家を相続したのである。将軍吉宗の幕政改革は「享保改革」と言われ、幕府財政を再建し、権力を強化した。本展では、吉宗が将軍に就任してから300年にあたるのを記念して、吉宗に関する展示を行ない、あわせて「明君」と言われた紀州藩祖・徳川頼宣や9代藩主・徳川治貞などに関する資料を展示し、吉宗を生みだした紀州藩の歴史を紹介する。

〈展示構成〉

- I 徳川吉宗
- II 徳川頼宣
- III 徳川治貞

〈講演会〉

4月24日（日）14:00～15:30

「将軍徳川吉宗の改革政治」

小倉 宗 氏（関西大学准教授）

5月14日（土）14:00～15:30

「紀州藩の明君」

佐藤 顕（当館学芸員）

〈展示解説〉4月23日（土）、5月28日（土）

いずれも 13:00～13:40



〈出陳目録〉

I 徳川吉宗（紀州徳川家5代、江戸幕府8代将軍）

1	徳川吉宗に関連する書籍	和歌山市立博物館
2	NHK大河ドラマ「八代将軍吉宗」関連資料	和歌山市立博物館
3	徳川光貞書状 尾張大納言宛	和歌山市立博物館
4	伊太祁曽神社由緒書	伊太祁曽神社
5	徳川光貞筆 明月之図	個人

6	徳川吉宗肖像	和歌山市立博物館
7	宝鑑	和歌山市立博物館
8	和歌山城下町図（複製）	和歌山市立博物館
9	天保風俗画	和歌山市立博物館
10	昌平河岸納涼夜店の図	和歌山市立博物館
11	名所図画	和歌山市立博物館
12	湯崎七湯之図	個人
13	徳川吉宗筆 鳩図	個人
14	田中家本 調馬図屏風	和歌山市立博物館
15	御天守起シ御絵図	個人
16	系譜（安藤帯刀）	和歌山市立博物館
17	系譜（水野飛驒守）	和歌山市立博物館
18	口宣案（三浦為隆）	和歌山市立博物館
19	御伝記 甲（三浦家）	和歌山市立博物館
20	延宝四年以来江戸其外所々旅行之覚	和歌山市立博物館
21	徳川吉宗書状 横田備中守宛	和歌山市立博物館
22	栗林八幡宮参拝御行列図	和歌山市立博物館
23	文政八年御入国行列図	個人
24	祇園南海筆 冬景山水図	和歌山市立博物館
25	榊原篁洲扁額	和歌山市立博物館
26	覚（寺院細工の大工は住持の勝手次第）	和歌山市立博物館
27	勢州御知行所御仕置追放手沓手錠追込筋書抜	和歌山市立博物館
28	口六郡地士六十人須田組	和歌山市立博物館
29	六郡割定書	和歌山市立博物館
30	奉願定免之事	文化振興課
31	寅免定	文化振興課
32	検見図巻	個人
33	赤坂御庭図画帖	和歌山市立博物館
34	中尾松榮筆 打毬図	和歌山市立博物館
35	葵紋蒔絵手拭掛	和歌山市立博物館
36	赤漆葵紋鉄箱	和歌山市立博物館
37	葵紋蒔絵菓子器	和歌山市立博物館
38	葵紋蒔絵天目台	和歌山市立博物館
39	黒漆葵紋入餌合子	和歌山市立博物館
40	葵紋蒔絵文箱 祐筆所用	和歌山市立博物館
41	葵紋付左義長羽子板	和歌山市立博物館

42	黒漆葵紋入鷹狩用陣笠（夏用）	和歌山市立博物館
43	黒漆葵紋入鷹狩用陣笠（冬用）	和歌山市立博物館
44	旧徳川八代將軍宣下之図	和歌山市立博物館
45	高貴徳川継紹之写真	和歌山市立博物館
46	徳川盛世録	個人
47	徳川家康筆 御鷹野日記	個人
48	徳川吉宗黒印状 亀井豊前守宛	和歌山市立博物館
49	小金原御狩之図	和歌山市立博物館
50	科人猥に追放有間敷との書付	和歌山市立博物館
51	御俵約被仰出之趣	和歌山市立博物館
52	御江戸大絵図	和歌山市立博物館
53	江戸名所図会（赤坂氷川社・飛鳥山）	和歌山市立博物館
54	紀州公儀江戸御供召連候人数	和歌山市立博物館
55	有馬氏倫書簡（娘の離縁について）	和歌山市立博物館
56	三浦為恭書簡写（有馬氏倫娘の離縁について）	和歌山市立博物館
57	徳川宗直書状	和歌山市立博物館
58	諸大夫勤覚	和歌山市立博物館
59	岩井泉流筆 遊豫画苑	個人
60	象見世物興行の引札	個人
61	利根姫様御入興記	和歌山市立博物館
62	有徳院様御法事御代参勤覚	和歌山市立博物館
63	明君享保録	和歌山市立博物館
64	明君徳光録	個人
65	享保南志	和歌山市立博物館
66	享保御実記	個人
67	紀州政事鑑	和歌山市立博物館
68	錦絵 大岡調名誉本説	和歌山市立博物館
69	天一坊顕悪録	個人

Ⅱ 徳川頼宣（紀州徳川家初代）

70	大君言行録	和歌山市立博物館
71	祖公外記	個人
72	御入国之節御供衆中御役録	和歌山市立博物館
73	御家中諸士先祖書	和歌山市立博物館
74	徳川頼宣肖像	和歌山市立博物館
75	徳川頼宣書状 中根老岐守宛	和歌山市立博物館

76	永田善斎 南紀略志	和歌山市立博物館
77	御家軍令并御旗	和歌山市立博物館
78	紀州武鑑 諸大夫已下、千石已上	和歌山市立博物館
79	徳川家康旗下二十将図	和歌山市立博物館
80	安藤直次肖像	個人
81	江戸じまん 風土略案内	和歌山市立博物館
82	田辺城下町絵図写	和歌山市立博物館
83	伊勢松坂図	和歌山市立博物館
84	田丸領絵図	個人
85	横須賀組陣立図	和歌山市立博物館
86	横須賀根元記	和歌山市立博物館
87	覚（小屋村）	個人
88	那波活所 人君明暗図説	個人
89	那波活所 廟算図	和歌山市立博物館
90	李梅溪 父母状	和歌山市立博物館
91	和歌浦図屏風	和歌山市立博物館
92	面（和歌祭）	和歌山市立博物館
93	総御廟御方々様御宝塔之写	和歌山市立博物館
94	御家中背旗（三浦家）	和歌山市立博物館
95	御家中背旗（海士郡松本利左衛門）	和歌山市立博物館
96	黒漆塗桶側二枚胴具足	和歌山市立博物館

Ⅲ 徳川治貞（紀州徳川家9代）

97	細井平洲書簡 石井子文宛（写真）	東海市教育委員会
98	徳川治貞書状	和歌山市立博物館
99	俚約ノ書付	和歌山市立博物館
100	種姫婚礼行列図	和歌山市立博物館
101	種姫様御入輿勝手不如意につき俚約書付	和歌山市立博物館
102	渡部主水申述候書付（徳川重倫定銀について）	和歌山市立博物館
103	奉書	和歌山市立博物館
104	鷹之図	個人
105	桑山玉洲筆 雲鶴清暁図	和歌山市立博物館
106	桑山玉洲筆 蘭竹石図	和歌山市立博物館
107	藩法令留（名草郡禰宜村）	文化振興課
108	御差上・御拝領御ひかへ	和歌山市立博物館
109	本居宣長肖像	和歌山市立博物館

110	先祖書・親類書（本居中衛）	和歌山市立博物館
111	続言行録附録	和歌山市立博物館
112	先君寔録	個人
113	安明遺事	和歌山市立博物館
114	仁君言行録	和歌山市立博物館
115	麟徳記	個人
116	四恩状	和歌山市立博物館
117	父母状	個人

○夏季特別展

「玉津島―衣通姫と三十六歌仙―」

〈開催期間〉7月16日(土)～8月21日(日)

〈開催日数〉32日

〈入館者数〉1,336名

〈開催趣旨〉

和歌山市内の和歌浦に建つ玉津島神社は、祭神として衣通姫（そとおりひめ）などを祀り、古来より「和歌の神様」として多くの人々の信仰を集めてきた。そのため、和歌に関する優れた文化財を現代に多く伝えている。2015年には宝物のひとつ、「狩野興甫画 三十六歌仙額」（万治3年・1660）が、2016年には天皇御製の和歌短冊を含む奉納和歌や所蔵古文書群などが和歌山市指定文化財となった。本展覧会ではそれにちなみ、玉津島神社所蔵の資料を一堂に会して展示した。

「和歌の神」玉津島に対する信仰の広がりや、紀州だけにとどまらず、世阿弥作の謡曲「蟻通」など多くの文学作品にその名が出てきたり、絵師の画題に祭神・衣通姫がしばしば選ばれたりするなど、玉津島神社は貴賤・都鄙を問わず多くの人々の崇敬を集めていた。そうした玉津島社に対する信仰の広がりやが分かる資料も、展覧に供した。

〈展示構成〉

- 一 玉津島神社の歴史
- 二 描かれた和歌の神—衣通姫を中心に
- 三 玉津島神社への奉納品
- 四 描かれた三十六歌仙

〈特別講演会〉 2階講義室

7月30日(土) 14時～

- ・「奉納和歌と玉津島神社」

神道 宗紀氏氏（元帝塚山学院大学教授）

〈講演会〉 2階講義室

8月6日(土) 14時～

- ・「玉津島神社の歴史—古代から近世まで—」

小橋 勇介（当館学芸員）

〈ミュージアムトーク〉

7月17日(日)・23日(土)・8月13日(土)・

20日(土)

14～15時

〈神輿（和歌山県指定文化財）の公開〉

場所：玉津島神社拝殿

会期中の土・日 13時から16時

〈展覧会図録〉

展示資料の写真、解説などを掲載した特別展図録『玉津島—衣通姫と三十六歌仙—』（A4版、98ページ、1,000円）を発行した。

〈協力者〉（五十音順、敬称略）

大阪市立美術館、京都市立芸術大学芸術資料館、京都府京都文化博物館、京都府立総合資料館、国文学研究資料館、国立公文書館、国立国会図書館、玉津島神社、奈良県立美術館、西本願寺、冷泉家時雨亭文庫、和歌山県立図書館、和歌山県立博物館、和歌山大学附属図書館、遠北明彦、遠北喜美代、遠北光彦、稲畑ルミ子、大河内智之、長田寛康、神田祥子、岸本香織、紀俊明、神道宗紀、高市健次、高木周、武部真子、田島菜摘、田中千余子、知念理、藤隆宏、丹生匡紀、林悠子、藤井仁美、松尾芳樹、松田公利、松原時夫、森道彦、藪本公三、藪本太一、山入史子、冷泉為人、冷泉貴実子、和田洋一



〈出陳目録〉

一 玉津島神社の歴史

1	続日本紀 巻五・十三	和歌山大学附属図書館
2	万葉集 巻六・七・九	和歌山大学附属図書館
3	公任集	東京大学国文学研究室
4	永承三年高野参詣記	和歌山市立博物館
5	日前宮人母頼幸・天野社惣神主和与状写	個人
6	日前宮文書太神宮神事記	東京大学国文学研究室
7	謡本 蟻通	玉津島神社
8	東野州閑書	和歌山大学附属図書館
9	紀三井寺参詣曼荼羅（複製）	和歌山市立博物館
10	飛鳥井雅永和歌浦紀行	個人
11	飛鳥井殿紀州下向之儀式写	国立国文学研究資料館
12	其阿誓状	冷泉家時雨亭文庫
13	今川氏真誓状	冷泉家時雨亭文庫
14	富樫伊勢守氏賢誓状	冷泉家時雨亭文庫
15	良恕法親王誓状	冷泉家時雨亭文庫
16	徳川頼宣寄進状	玉津島神社

17	徳川頼宣寄進状	玉津島神社
18	卜部兼連勘文	玉津島神社
19	徳川頼宣置文	玉津島神社
20	下条孫右衛門・大沢善右衛門奉書	玉津島神社
21	修繕帳	玉津島神社
22	宝物目録	玉津島神社
23	大君言行録 坤巻	和歌山市立博物館
24	狛犬	玉津島神社
25	兎像	玉津島神社
26	脇障子	玉津島神社
27	和歌浦図屏風	和歌山市立博物館
28	高槻重起筆 和歌浦図	冷泉家時雨亭文庫
29	熊中奇観 下巻	和歌山県立博物館
30	弱浦賞勝玉藻詩集	和歌山県立図書館
31	紀伊国名所図会 巻二	和歌山市立博物館
32	紀伊続風土記 巻二十二	和歌山県立図書館
33	玉津島社絵図并和歌名所	和歌山市立博物館
34	玉津島神社絵図并和歌名所 版木	玉津島神社
35	和歌浦名所記	和歌山市立博物館
36	和歌浦名所記 版木	玉津島神社
37	紀路歌枕抄 巻一	和歌山大学附属図書館
38	あしべの鶴	個人
39	扇面・和歌浦図 版木	玉津島神社
40	鹽竈大神御神符 版木	玉津島神社
41	玉津島神社略記	玉津島神社
42	玉津島略記 版木	玉津島神社
43	卜部兼雄奉書	玉津島神社
44	春秋祭礼御使始終扣	玉津島神社
45	河合理右衛門書状	玉津島神社
46	土山淡路守書状	玉津島神社
47	玉津島社奠供山寄進帳	玉津島神社
48	玉津島社卯ノ日講勸誘書	玉津島神社
49	榎坂五郎左衛門御役所被仰聞候写	玉津島神社
50	覚（奠供山碑制作費につき）	玉津島神社
51	本居宣長書状	玉津島神社
52	本居宣長和歌懷紙 玉津島	個人
53	稲掛大平書状	玉津島神社

54	玉鉾百首解 稿本	和歌山県立図書館
55	玉津島祝部並明神興廃事	東京大学国文学研究室
56	玉津島勢縁	東京大学国文学研究室
57	玉津島夢中歌合	東京大学国文学研究室
58	玉津島図盃	和歌山市立博物館
59	南紀男山焼 染付玉津春曉花生	和歌山県立博物館

二 描かれた和歌の神—衣通姫を中心に

60	日本書紀 巻十三	和歌山大学附属図書館
61	古事記 下巻	和歌山大学附属図書館
62	古今和歌集 巻一	和歌山大学附属図書館
63	古今著聞集 巻一	和歌山大学附属図書館
64	衣通姫像 版木	玉津島神社
65	衣通姫像	玉津島神社
66	冷泉中納言揮毫 衣通姫歌	玉津島神社
67	土佐光芳筆 橘房隆賛 玉津島大明神図	冷泉家時雨亭文庫
68	橘房隆歌道内弟披露状写	玉津島神社
69	土佐光成筆 玉津島明神像	京都市立芸術大学芸術資料館
70	土佐光芳筆 衣通姫像	京都市立芸術大学芸術資料館
71	和歌三神図	京都市立芸術大学芸術資料館
72	狩野探幽筆 和歌三神・藤代・和歌浦図	個人
73	狩野探信筆 和歌三神図	個人
74	住吉広行筆 松平定信賛 和歌三神図	個人
75	田中訥言筆 女和歌三神図	奈良県立美術館
76	西川祐信筆 衣通姫図	京都府立総合資料館
77	板谷慶舟筆 衣通姫図	個人
78	岩瀬広隆筆 衣通姫図	個人
79	岩瀬広隆筆 加納諸平賛 柿本人麻呂像	和歌山市立博物館
80	山澤與平筆 山部赤人像	和歌山県立博物館

三 玉津島神社への奉納品

81	後奈良天皇宸筆 南無玉津嶋明神神号	玉津島神社
----	-------------------	-------

82	後奈良天皇宸翰奉納状	玉津島神社
83	古筆了仲鑑定書	玉津島神社
84	扶桑拾葉集	玉津島神社
85	扶桑拾葉集奉納状	玉津島神社
86	幔幕	玉津島神社
87	幔幕奉納状	玉津島神社
88	狩野古信筆 和歌浦図	玉津島神社
89	六歌仙扁額	玉津島神社
90	寛文4年奉納和歌短冊	玉津島神社
91	天和3年奉納和歌短冊	玉津島神社
92	延享元年奉納和歌短冊	玉津島神社
93	宝暦10年奉納和歌短冊	玉津島神社
94	明和4年奉納和歌短冊	玉津島神社
95	寛政9年奉納和歌短冊	玉津島神社
96	天保13年奉納和歌短冊	玉津島神社
97	後桜町上皇奉納和歌短冊	玉津島神社
98	柳宮	玉津島神社
99	仙洞御所月次奉納和歌巻物 上下巻	玉津島神社
100	道晃法親王奉納和歌短冊	玉津島神社
101	徳川頼宣奉納和歌短冊	玉津島神社
102	徳川宗直奉納和歌	玉津島神社
103	覚（歌道伝授の祈祷の初穂・撫物）	玉津島神社
104	土山武業書状	玉津島神社
105	高松上総介書状案	玉津島神社
106	冷泉為久詠・同為村筆 吹上八景手鑑	玉津島神社
107	堺田通節奉納木綿纏和歌	玉津島神社
108	祝詞	玉津島神社
109	祝詞	玉津島神社
110	中院通躬奉納和歌短冊	玉津島神社
111	藤原有量奉納百首和歌巻物	玉津島神社
112	坂光淳等奉納和歌巻物	玉津島神社
113	栄調・敬忠・道高等奉納和歌	玉津島神社
114	徳川則子奉納和歌巻物	玉津島神社
115	覚写（倫宮詠歌・撫物奉納）	玉津島神社
116	覚（短冊千人足につき）	玉津島神社
117	覚（不時・定式渡物書上）	玉津島神社

118	乍恐奉願上口上	玉津島神社
119	唐櫃	玉津島神社

四 描かれた三十六歌仙

120	三十六歌仙扁額	玉津島神社
-----	---------	-------

○秋季特別展

「城下町和歌山の絵師たち—江戸時代の紀州画壇—」

〈開催期間〉10月22日(土)～11月27日(日)

〈開催日数〉30日

〈入館者数〉2,398名

〈開催趣旨〉

江戸時代の和歌山は、御三家・紀州徳川家（紀州藩）の城下町として発展し、全国有数の都市として栄えた。学問・文化も花開き、さまざまな画家たちが活躍した。徳川幕府の御用絵師の流れをくむ紀伊狩野家や山本家、笹川家、岩井家などの紀州藩のお抱え絵師たち、祇園南海、桑山玉洲、野呂介石といった全国的に有名な文人画家たちも和歌山で活動した。今回の特別展では、紀伊狩野家や紀州三大文人画家など比較的知名度の高い画家はもちろんのこと、従来あまりかえりみられなかった画家たちにも注目し、その作品と関係資料を一堂に展示した。

〈展示構成〉

- 一 紀州藩のお抱え絵師たち
- 二 お殿様の絵どころ
- 三 多彩な紀州画壇
- 四 みんなで描く、一緒に描く、描き継ぐ
- 五 ようこそ和歌山へ—来和の画家たち

〈特別講座〉 2階講義室

10月29日(土) 14時～

・「紀伊狩野家の特色」

狩野 紘信氏

（日本画家、紀伊狩野家十三代当主）

〈講演会〉 2階講義室

11月12日(土) 14時～

・「野呂介石の交友と門人

—紀州画壇への影響を中心に—」

安永 拓世氏（東京文化財研究所 研究員）

11月26日(土) 14時～

「江戸時代の紀州画壇」

近藤 壮（当館学芸員）

〈ミュージアムトーク〉

11月3日(木)祝、11月23日(水)祝

14～15時

〈展覧会図録〉

展示資料の写真、解説などを掲載した特別展図録『城下町和歌山の絵師たち—江戸時代の紀州画壇—』（A4版、100ページ、1,000円）を発行した。



〈協力者〉（五十音順、敬称略）

梅澤記念館、玉津島神社、道成寺、原田集古館、有限会社帰雲、和歌山県立博物館、和歌山大学紀州経済史文化史研究所、青柳良一、遠北明彦、遠北喜美代、遠北光彦、岩見吏江子、上川典見、梅澤信子、大橋直義、小野俊成、郭一彦、狩野紘信、木村和男、小池豊子、笹川浩、島知子、瀧北敬久、瀧北守男、高市健次、竹中康彦、田中千余子、出和代、出泰之、寺井富士、西本和子、袴田舞、原田政男、平井鈴雄、船橋広子、水野僚子、安永拓世、藪本公三、藪本太一、山田康隆、山田裕嗣、吉村旭輝、和中美喜夫

〈出陳目録〉

I 紀州藩のお抱え絵師たち			
1		『紀州家臣諸技芸員町家御用諸氏人名録』	和歌山市立博物館
2		『紀伊狩野家系譜書』	個人蔵
3	狩野興以	狗子仏性図	個人蔵
4	狩野興甫	唐人図屏風	和歌山県立博物館
5	狩野興甫	三十六歌仙額	玉津島神社
6	狩野興甫	紀州友ヶ島図	和歌山県立博物館
7	狩野興益	鶏図	和歌山県立博物館
8	狩野栄興	太刀魚図（紀伊狩野家伝来 絵画資料）	個人蔵
9	狩野栄興	草花写生図巻（紀伊狩野家 伝来絵画資料）	個人蔵
10	狩野栄興	草花写生図巻（紀伊狩野家 伝来絵画資料）	個人蔵
11	狩野栄興	山水人物花鳥図押絵貼屏 風	個人蔵
12	狩野興永	魚貝写生図巻（紀伊狩野家 伝来絵画資料）	個人蔵
13	狩野興永	衛府太刀拵絵形（紀伊狩野 家伝来絵画資料）	個人蔵
14		鷹狩図模様着物絵形（紀伊 狩野家伝来絵画資料）	個人蔵
15		トド図模本（紀伊狩野家伝	個人蔵

		来絵画資料)	
16		ムササビ図模本（紀伊狩野 家伝来絵画資料）	個人蔵
17	山本養和	富士図	個人蔵
18	山本養和	鷹図	個人蔵
19	山本伊球	鶴図	和歌山市立博物館
20	山本養和	松盆栽鼠図	和歌山市立博物館
21	山本養和	鍾馗に鬼図	和歌山市立博物館
22	山本養和	群鶴図	個人蔵
23	岩井泉流	唐獅子図	個人蔵
24	岩井泉流	遊豫画苑	個人蔵
25	並河甫仙	鷹匠図・業平図・官女図	和歌山県立博物館
26	堀端養恒	鶴図	原田集古館
27	堀端養恒	山水図	和歌山県立博物館
28	須藤祐珉	瓢駒図 伊藤蘭嶋賛	和歌山市立博物館
29	須藤祐珉	鳩図	個人蔵
30	須藤久甫	浜木綿写生図	個人蔵
31	笹川遊泉	京都御所御造営御換絵上 絵	和歌山市立博物館
32	笹川遊泉	和歌浦図巻	和歌山市立博物館
33	笹川遊泉	鷹図	和歌山市立博物館
34	笹川遊泉	梅鷹図	和歌山県立博物館
35	笹川遊原	唐美人図	個人蔵
36	笹川遊原	美人浄瑠璃遊び図	個人蔵
37	笹川遊原	笠置山行在所図	個人蔵
38	笹川遊原所用	硯箱	和歌山市立博物館
39	笹川遊原所用	煙草入れ	和歌山市立博物館
40		笹川遊原像	個人蔵
41	野際白雪	松林山水図	和歌山県立博物館
42	野際白雪	春景・秋景山水図	個人蔵（和歌山県 立博物館寄託）
43	野際白雪	白猿図	個人蔵
44	野際蔡真	那智滝図	個人蔵
45	野際蔡真	寿老人図	個人蔵
46	野際蔡真	和歌浦図巻	個人蔵
47	野際蔡春	和歌祭図	個人蔵
48	岩瀬広隆	源氏物語図	個人蔵

49	岩瀬広隆	年中行事図	個人蔵
50	岩瀬広隆	尻餅図	和歌山市立博物館
51	岩瀬広隆	韓信股くぐり図屏風	和歌山市立博物館
52	岩瀬広隆所用	絵道具箱	和歌山市立博物館
53	真砂幽泉	七福神図	和歌山県立博物館

Ⅱ お殿様の絵ごころ			
54	徳川頼宣	宝船図	個人蔵
55	徳川光貞	布袋図	和歌山市立博物館
56	徳川吉宗	鳩図 徳川頼職賛	個人蔵
57	徳川治宝	松鶴図	和歌山市立博物館
58	徳川治宝	牡丹図	個人蔵
59	徳川斉彊	福祿寿図	個人蔵
60	徳川斉彊	柳鷺図	和歌山市立博物館
61	安藤直裕	朱竹図	和歌山市立博物館

Ⅲ 多彩な紀州画壇			
62	祇園南海	墨竹図	和歌山市立博物館
63	祇園南海	山水図（月夜）	個人蔵
64	祇園南海	『南海詩訣』	個人蔵
65	祇園南海所用	石硯	個人蔵
66	祇園南海所用	尺八	個人蔵
67	祇園尚濂	白梅図	個人蔵
68	桑山玉洲	野馬図	和歌山市立博物館
69	桑山玉洲	花鳥図	個人蔵
70	桑山玉洲	『桑氏扇譜考』（草稿）	和歌山市立博物館
71	桑山玉洲	雲鶴清曉図	和歌山市立博物館
72	桑山玉洲	雪景山水図	個人蔵
73	桑山玉洲	『画苑鄙言』（草稿）	和歌山市立博物館
74	桑山玉洲	『絵事鄙言』	和歌山市立博物館
75	桑山玉洲	草花写生帖	和歌山市立博物館
76	桑山玉洲	『珂雪堂画記』	和歌山市立博物館
77	韓天寿	「珂雪堂」扁額	和歌山市立博物館
78	野呂介石	那智三瀑図	和歌山県立博物館
79	野呂介石	山水図	個人蔵
80	呉芝岳・野際白 雪	『介石画話』	個人蔵

81	野呂介于	山水図	和歌山県立博物館
82	野呂松盧	山水図	和歌山県立博物館
83	西郷石鷗	蘭竹図巻	個人蔵
84	三宅西浦	蘭竹図	個人蔵
85	平林無方	山水図	和歌山県立博物館
86	浜口灌圃	秋景山水図	和歌山県立博物館
87	前田有竹	夏景山水図	和歌山県立博物館
88	阪上淇澳	竹石図	和歌山県立博物館
89	愛石	山水図	個人蔵
90	愛石	花溪深遠図	個人蔵
91	松丘	紫陽花図	和歌山市立博物館
92	松丘	寿老人行列図	個人蔵
93	諏訪鶯湖	熊野那智山瀑布図	和歌山県立博物館
94	大江霞岳	那智滝図	和歌山県立博物館
95	井爪丹岳	夏山雨過図	個人蔵
96	坂昇春	赤坂御庭図画帖	和歌山市立博物館
97	塩路鶴堂	宮子姫伝記	道成寺
98	塩路鶴堂	清姫鍾巻伝記	道成寺
99	塩路鶴堂	牛と寿老人図	和歌山市立博物館
100	塩路鶴堂	『雀堂画譜』	個人蔵
101	小原桃洞	『桃洞遺筆』初編	個人蔵
102	岡本緑邨	春秋百花図	個人蔵
103	岡本緑邨	花鳥図	個人蔵
104	岡本緑邨	七香図	和歌山市立博物館
105	岡本緑邨	名花十友図	個人蔵
106	岡本緑邨	南山瑞橋図	個人蔵
107	岡本緑邨	大黒図	個人蔵
108	崖熊野	雪中騎馬図	個人蔵
109	崖熊野	竹鶏図	個人蔵
110	崖熊野	『熊野先生南山紀行』	個人蔵
111	崖南嶺	桃花に鯉図 山本楽所賛	個人蔵
112	秋月鶴嶺	春秋花鳥図	個人蔵
113	崖龍山	鍾馗図	個人蔵
114	森月航	花鳥図	個人蔵
115	森月航	蝶図	個人蔵
116	木村月嶺	鍾馗図	和歌山市立博物館
117	馬上清江	花鳥図	和歌山県立博物館

118	青木夙夜	青緑富嶽図	個人蔵
119	山澤与平	薩摩守忠度図	個人蔵
120	山澤与平	鳥獣戯画図	個人蔵
121	畔田翠山	鰐魚図	和歌山市立博物館
122	畔田翠山	駒止桜図	個人蔵
123	小原桃洞	魚品図	個人蔵
124	小原桃洞	魚譜	個人蔵
125	山中信古	増訂南海包譜	個人蔵
126	上辻木海	柑橘図絵	個人蔵
127	上辻木海	鳴滝真景図	和歌山県立博物館
128	阪本浩雪	桜図	和歌山市立博物館
129	阪本浩雪	桜双禽図	個人蔵
130	阪本浩雪	桜図	個人蔵
131	阪本浩雪	桜図	個人蔵
132	阪本浩雪	『菌譜』	個人蔵
133	川合小梅	観梅円窓美人図	和歌山市立博物館
134	川合小梅	人形つかい図	個人蔵
135	松尾塊亭	自画自賛像	和歌山市立博物館
136	松尾塊亭	雷公子図自画賛	個人蔵
137	松尾塊亭	『俳諧百画賛』	個人蔵
138	松尾塊亭	二見形文台	個人蔵
139	山田龍山	牛図	和歌山市立博物館
140	鎌田景麟	花鳥図	和歌山県立博物館
141	鎌田景麟	蛙図	個人蔵
142	榎本遊谷	和歌祭図	個人蔵
143	中尾松栄	打毬図巻	和歌山市立博物館
144	吉田南涯	和歌浦図	和歌山市立博物館
145	長阪雲在	不老如意図	和歌山市立博物館
146	依岡三交	熊野三瀑図	和歌山市立博物館
147	筑紫翠雲	魚介図	和歌山市立博物館
148	彦坂犢庵	蝦蟇図	和歌山市立博物館
149	彦坂犢庵	蝦蟇図	和歌山市立博物館
150	光川亭仙馬	轆轤図	和歌山市立博物館
151	田村高山	唐美人図	和歌山市立博物館
152	永楽保全	狐和尚図 大綱賛	個人蔵
153	覚々斎	茶碗月図	個人蔵
154	啐啄斎	富士図	和歌山市立博物館

155	吸江斎	打出小槌図	個人蔵
-----	-----	-------	-----

Ⅳ みんなで描く、一緒に描く、描き継ぐ			
156	野呂介石・松丘・崖南嶺	雅人集会図	和歌山市立博物館
157	野呂介石・阪上梅圃ほか	泉石嘯傲図（紀州諸家介石門人寄合描）	和歌山県立博物館
158	笹川遊原・岩瀬広隆他	花鳥図寄合描	個人蔵
159	桑山君婉	水仙図	和歌山市立博物館
160	桑山玉洲	急須と茶碗図	和歌山市立博物館
161	桑山玉洲所用	絵皿	和歌山市立博物館
162	桑山君婉所用	皿	和歌山市立博物館
163	桑山玉洲所用	画下敷	和歌山市立博物館
164	桑山玉洲所用	硯	和歌山市立博物館
165	小原桃洞	『桃洞遺筆』第二編	個人蔵
166	森月航	漁家楽図 崖熊野賛	個人蔵
167	崖南嶺	叭々鳥図 崖熊野賛	和歌山県立博物館
168	鈴木景福・岡本緑邨	花鳥図衝立	個人蔵（和歌山県立博物館寄託）
169	桑山玉洲	旭日群鶴図	個人蔵（和歌山県立博物館寄託）
170	岡本緑邨	明光浦十景図	和歌山市立博物館
171	野呂介石・阪上洪漢	梅竹図蒔絵弁当重箱	和歌山市立博物館

Ⅴ ようこそ和歌山へー来和の画家たち			
172	池大雅	飲中八仙図巻	個人蔵
173	木村兼葭堂	崖下泛舟図	和歌山市立博物館
174	木村兼葭堂	名花十二客図	個人蔵
175	上田公長	虎図	個人蔵
176	上田公長	『公長画譜』	個人蔵
177	西村中和	高野山図	個人蔵
178		『紀伊国名所図会』	個人蔵
179		『紀伊国名所図会』三編	個人蔵
180	大岡雲峰	鯉図	個人蔵
181	大岡雲峰	鶴図	個人蔵

182	大岡雲峰	書状	個人蔵
183	谷文晁	墨竹図 崖南嶺賛	和歌山市立博物館
184	田能村竹田	糸瓜小蟲図	和歌山市立博物館
185	洲上旭江	和歌浦真景名草山登臨図	和歌山市立博物館
186	川合春川	遊友ヶ島記	和歌山市立博物館

○冬季特別陳列

「歴史を語る道具たち」

〈開催期間〉1月11日(水)～2月26日(日)
 〈開催日数〉41日
 〈入館者数〉3,572名(小学校52校、2839名)
 〈開催趣旨〉

和歌山市立博物館では、開館以来多くの市民の方々から寄贈された農具・生活用具等の民具を多数所蔵している。これらの資料の一部は常設展示室に展示し、展観事業に供しているが、その他の多くの資料を有効に活用するため、特別陳列「歴史を語る道具たち」を開催し、先人の生活の知恵を学ぶ機会にしたいと考えている。

なお、本展覧会は小学校3・4年生社会科の学習指導要領に対応する企画である。小学生団体専用の教育プログラムでは学芸員が実際に案内し、希望により米づくりの映画を上映したり、行灯に点灯あるいは蓄音機を鳴らすなどの体験も行っている。

〈展示構成と主な展示資料〉

- 1 くらしの道具
扇風機、裁縫箱、たらい、和傘など
- 2 遊びと勉強
教科書、通信簿、ベーゴマ、羽子板など
- 3 あかりの道具
行灯、提灯、蝋燭箱、ランプなど
- 4 食事の道具

- 羽釜、蒸籠、提重、箱膳、氷冷蔵庫など
- 5 はかる道具
竿ばかり、斗枰、鯨尺、看貫ばかりなど
- 6 あたたまる道具
箱火鉢、こたつ、行火、湯たんぽなど
- 7 ちょっと昔の道具
冷蔵庫、洗濯機、白黒テレビなど
- 8 米づくりの農具
鍬、馬鍬、千歯こき、唐臼、唐箕など

総展示点数 約 160 点

〈ワークシート〉本展覧会は、小学生 3、4 年生の社会科に対応しているため、小学校団体見学が多い。そのため、展示をより深く理解してもらえるようにワークシート(オールカラー・全 8 ページ)を作成し、無料配布している。

○ホール展示

1 戦時下の和歌山

〈開催期間〉7 月 9 日(土)～8 月 21 日(日)

〈開催趣旨〉

昭和 18 年前後の和歌山市新高町における町内会関係資料を展示した。当時各地域には町内会などが組織され、さまざまな活動をしていた。現在の自治会としての町内会とは異なり、上意下達の機関として機能し、行政機関の末端組織だった。戦時下の国民生活に大きな影響を及ぼした大政翼賛会や県、市町村などからの通達や指示により活動し、軍事的色彩の強い組織でもあった。このような町内会は、防空訓練や食料品、配給品の管理、金属類の供出など人々の暮らしに直接関わりを持っていた。今回のホール展示は、当時の町内会の実態を知る上で貴重な資料を紹介した。

〈展示点数〉19 点

2 平成 27 年度寄贈資料展

〈開催期間〉12 月 6 日(火)～25 日(日)

〈開催趣旨〉

和歌山市立博物館は、昭和 60 年(1985)の開館以前より市民の方々からたくさんの郷土和歌山の歴史等に関する資料をご寄贈いただいている。これらの資料は大切に保管し、展示や研究に活用している。昨年度(平成 27 年度)は 21 名の方々から考古資料 2 件、歴史資料 43 件、美術資料 7 件、民俗資料 18 件をご寄贈いただいた。

今回のホール展示では、昨年度(平成 27 年度)に寄贈いただいた資料を展示した。

〈展示点数〉31 点

○コーナー展示

平成 20 年度から常設展示室の民俗及び近世部門の展示ケースの一部を利用し、コーナー展示を行っている。この展示は一つのテーマを決めて資料を紹介するミニ展示である。本年度のコーナー展示は、以下のとおりである。

■3 月 29 日(火)～6 月 5 日(日)

なつかしの市電

仁井田好古

■6 月 7 日(火)～8 月 7 日(日)

紀州の弓術

近世の世界地図

■8 月 9 日(火)～10 月 2 日(日)

小倉神社

太田黒田遺跡

■10 月 4 日(火)～12 月 4 日(日)

川合小梅をめぐる人々

城下町の本屋さん

■12 月 6 日(火)～3 月 26 日(日)

絵画にみる米づくり

吉田初三郎―「大正広重」―

2. 教育普及事業

○史跡散歩

1 「古写真で ぶらり歩こう本町界隈」

- ・日 時 10月8日(土)
13時20分～16時30分
- ・行 程 京橋→駿河町→福町→ト半町→
西ノ店→万町→ぶらくり丁→雑
賀橋など ※徒歩距離約2.4km

・参加者 16名

・参加費 一般300円 高校生以下200円

江戸時代から、商人、職人たちが集住する本町界限は、消費都市である城下町の生活を支えていた。周辺には、駿河町・福町・万町・西ノ店・米屋町・匠町などがあり、多くの人や物が集まっていた。明治時代以降もその役割は変わらず、今まで和歌山市を代表する商店街のひとつである。

今回は、明治時代以降から戦前まで、本町界限に関する古写真などを見ながら、ぶらぶら歩き、その変遷をたどってみた。

2 「吉宗ゆかりの地を歩く」

- ・日 時 11月5日(土)
13時～16時30分
- ・行 程 博物館→伝法御屋敷(藩校学習館)
跡→扇の芝→吉宗生誕地→徳川家墓
所→刺田比古神社→岡山時鐘堂(解
散) ※徒歩距離約4km

・参加者 20名

・参加費 500円

今年は徳川吉宗が江戸幕府の八代将軍に就任してから300年の記念すべき年で、それを記念して、博物館の常設展示室で吉宗関連の資料を見ていただき、城下町に点在する吉宗ゆかりの地を訪ねた。

○体験学習

1 「休館日の博物館を探検しよう」

- ・日 時 8月8日(月)
14時～15時30分
- ・場 所 和歌山市立博物館内
- ・参加者 22名(保護者含む)

平成25年度から、夏休み中の休館日を利用して、子ども向けに博物館のバックヤードや展示替えの作業をみていただく行事として開催している。普段はケース越しに見る資料を間近で見られる企画として開催した。

2 「布わらじをつくろう」

- ・日 時 8月25日(木)
13時30分～16時30分ごろ
- ・場 所 2階 体験学習室
- ・参加者 32名
- ・参加費 200円(材料費)

わらの代わりに布を使って、わらじ(草履)づくりを体験してもらった。作業の前には履き物の歴史を学習する機会ももうけた。

3 「むかしの遊びを体験しよう」

- ・日 時 ①8月27日(土)
②1月14日(土)
③2月25日(土)
いずれも13時30分～16時
- ・場 所 1階 玄関ホール
- ・参加者 ①3名 ②12名 ③27名
- ・参加費 無料

竹とんぼやメンコ、ペッタン、おはじきなどといった遊びを体験することで、昭和期におけるこどもの生活の一端を知ってもらった。

4 「蓄音機で音楽を聴こう」

- ・日 時 2月18日(土)
13時30分～16時
- ・場 所 1階 玄関ホール
- ・参加者 36名
- ・参加費 無料

特別陳列「歴史を語る道具たち」の関連事業として開催。昭和初期のSPレコードを実際に蓄音機で鳴らし、音楽を聴いてもらった。音質は現在のCDなどと比べ劣るが、昔なつかしい当時のアナログ的な音をホールに響かせた。

○市博講座等

1 映画「和歌山大空襲」

・日 時 7月9日(土)
13時30分～14時30分

・参加者 91名

昭和20年7月9日未明、和歌山市は大空襲を受けたが、それをテーマにした映画「和歌山大空襲」を上映した。

2 「古写真でみる和歌山」

・日 時 ①9月3日(土) 本町・市駅
②9月10日(土) 和歌浦
③9月17日(土) 市電
④9月24日(土) 加太・東和歌山・
紀三井寺
いずれも14時～15時

・場 所 2階 講義室

・参加者 ①25名 ②31名 ③43名 ④28名

・参加費 無料(入館料必要)

明治後期から昭和初期にかけて撮影された和歌山各地の景観を、古写真を見ながら解説した。

3 「友ヶ島」

・日 時 ①1月21日(土) 友ヶ島の遺跡
②1月28日(土) 友ヶ島の修験
③2月4日(土) 江戸時代の海防
④2月11日(土) 友ヶ島をめぐる
美術
いずれも14時～15時

・場 所 2階 講義室

・参加者 ①33名 ②38名 ③45名 ④22名

・参加費 無料(入館料必要)

和歌山市内の観光地、友ヶ島の歴史をさぐる連続講座。

○わかやま歴史講座

徳川吉宗が将軍に就任して300年になるのを記念し、江戸時代をテーマに連続講座を開催した。

・実施日とテーマ、講師

① 10月2日(日)

「紀州藩大庄屋と他領の大庄屋」

志村 洋 氏(関西学院大学教授)

② 10月10日(月・祝)

「紀州藩主 徳川吉宗」

藤本清二郎 氏(和歌山大学名誉教授)

③ 10月16日(日)

「参勤交代と宿場の対応」

高橋伸拓 氏(茨木市立文化財資料館学芸員)

・参加者 ①33名 ②52名 ③40名

○古文書講座 かな入門～物語を読む～

・日 時 ①5月21日(土)

②5月28日(土)

③6月4日(土)

④6月11日(土)

いずれも14時～15時30分

・場 所 2階 講義室

・申込者 47名

・参加費 100円(全4回分)

江戸時代に書かれた紀州藩家老の紀行文「太笑記」を用いて、かな文字のくずし字に慣れ親しむことを目的に、全4回の解説講座を行った。

○校区探検

1 「城北を歩く」

小学校区内の史跡や文化財をめぐる校区探検は毎年おこなっている。今回は城北小学校で、6年生を対象に授業時間内に実施した。児童たちの住む身近な地域の歴史・文化や地域出身の人物について理解を深めてもらった。

・日 時 9月30日(金)

13時35分～15時15分

- ・参加者 20 名
- ・行程 ①城北小学校→②本願寺鷺森別院→③湊の施設と吉宗の屋敷地→④南方熊楠生誕地→⑤湊橋・西外堀→⑥御蔵→⑦三ノ丸・大手道→白⑧京橋・大手筋→⑨駿河町→⑩^{なや}納屋河岸→城北小学校

※徒歩距離約 3km

○回想法プログラム

「回想法」とは、1960 年代にアメリカの精神科医によって提唱された非薬物療法の一つで、高齢者が昔の懐かしい記憶や楽しかった思い出を振り返ることによって、脳を活性化させる心理・社会的アプローチである。本館では、冬季特別陳列「歴史を語る道具たち」の会期中に、特別展示室とは別のスペース(体験学習室)を設け、そこに昭和初期から 40 年代の生活道具や玩具などを展示した。このスペースにおいては、実際に高齢者が資料に触れることができる。高齢者が過去を思い出すことによって、介護予防に役立てていただくよう、本プログラムを実施した。

〈実施期間〉

平成 29 年 1 月 11 日(水)～2 月 26 日(日)

〈利用者数〉

40 名(6 施設：利用者 25 名・介護者 15 名)

○博物館実習

8 月 23 日(火)～27 日(土)

大学における博物館学芸員資格取得課程の実習館として毎年実施している。平成 28 年度は 8 月 23 日から同 27 日での 5 日間実施し、武庫川女子大学生 1 名、京都女子大学生 1 名が参加した。実習内容は以下のとおりである。

- 8 月 23 日(火) 館内施設・常設展案内
武器武具の取り扱い方
- 8 月 24 日(水) 近代資料の整理と展示

- 8 月 25 日(木) 体験学習準備
体験学習補助
- 8 月 26 日(金) 出土資料の整理
美術工芸資料の取り扱い方
- 8 月 27 日(土) 展示環境の実際
体験学習準備
絵図・地図の取り扱い方
実習レポート作成

【博物館実習受け入れに関する内規】

- 1 本館において博物館実習の受講を希望するものは、次のすべてをみたすものに限る。
 - (1) 受講を希望するものの所属する大学から依頼のあったものであること。
 - (2) 和歌山県内出身者または和歌山県内の大学に在籍する学生であること。
 - (3) 専攻分野が人文科学系であること。
 - (4) 実習を受講する前年までに、博物館施行規則第 1 条に掲げる生涯学習概論・博物館概論・博物館経営論・博物館資料論・博物館資料保存論・博物館展示論・博物館教育論・博物館情報・メディア論に相当する課目を履修済みであり、かつこれ以外の科目をすべて当該年に取得できる見込みのあること。
- 2 実習生の受け入れ定員は 20 名以内とする。
- 3 館長が特に認めた場合は、この限りではない。

内規 平成 11 年 4 月 1 日

改正 平成 24 年 4 月 1 日

○ミュージアムボランティア

平成 20 年度から和歌山大学教育学部からミュージアムボランティアを受け入れている。本年度は和歌山大学生 8 名を受け入れた。本館担当学芸員と学生が調整を付け各種作業を行う。強制ではなく、双方の都合があわなければ実施できないことになる。そのため、比較的軽い作業を補助していただくことが多い。活動内容は主に

体験学習の補助や博物館資料の整理などである。

○職場体験

平成23年度から中学生の職場体験を受け入れている。中学生としての勤労観、職業観を育成させるため、様々な職場での体験が求められている。本年度は西脇中学校2年生4名(6月14日～16日)、加太中学校2年生4名(7月6日～8日)、紀之川中学校2年生4名(9月13日～15日)、西和中学校(9月27日～29日)、東中学校2年生2名(11月15日～17日)を受け入れた。体験内容は受付業務、資料整理、展示ケース等の清掃、演示具の整理などである。

○ウェブサイト

平成10年度に本館ウェブサイトを和歌山市ウェブサイト内に開設して以来、コンテンツを改定・補充してきた。その後、平成16年7月から、館として新たに独自ドメインを取得、オリジナルウェブサイトを作成、運営を行うこととした。平成22年度より、ドメイン名の変更とともに、大幅なりリニューアルを行ない、アクセス数も着実に増えている。

また、平成26年度から新たな試みとして、和歌山市立博物館公式Twitter(ツイッター)を開設した。定期的に展覧会や行事の情報を発信しており、フォロワー数も順調に増加している。

和歌山市立博物館ウェブサイト

(平成29年4月現在)

<http://www.wakayama-city-museum.jp/>

・和歌山市立博物館公式Twitter(ツイッター)

(平成29年4月現在)

https://twitter.com/w_city_hakubuts

3. 調査研究事業

○職員の執筆文献

額田 雅裕

〈論文〉

2017.3.31「和歌浦の風景とその移り変わり」

『文化財担当者と学ぶ名勝和歌の浦』名勝

和歌の浦 玉津島保存会

〈著書〉

2016.4.23『城下町の風景Ⅱ－カラーでよむ紀伊国名所図会－』、ニュース和歌山、全64頁。

〈報告書〉

2017.3.31「位置と地理的環境」『平井遺跡、平井

Ⅱ遺跡―第二阪和国道建設に伴う発掘調査報

告書』公益財団法人和歌山県文化財センター

〈コラム〉

2016.9.3「吉宗の生誕地」、『ニュース和歌山』

2016.9.17「扇ノ芝と刺田彦神社」、『ニュース和

歌山』

2016.10.1「湊御屋敷跡」、『ニュース和歌山』

2016.10.15「岡山の時鐘堂」、『ニュース和歌山』

2016.10.29「寛徳院墓碑」、『ニュース和歌山』

〈マップ〉

2016.4.20「城下町が息づく 和歌山を歩こう！」

(共著、3訂版)、和歌山歴史地理研究会

太田 宏一

〈論文〉

2016.12.15「和歌山市歌について」、『研究紀要』

31号、和歌山市立博物館

近藤 壮

〈図録〉

2016.10.22『城下町和歌山の絵師たち―江戸時代の紀州画壇―』、和歌山市立博物館特別展図録

〈論文〉

2016.11.2「円山応挙と十八世紀の公家社会―渡辺始興との関係に注目して」、開館75周年特

別展図録『円山応挙一写生を超えて』、根津美術館

山下 奈津子

〈論文〉

2016. 12. 15 「紀州藩における寛政期の砂糖生産について」、『研究紀要』31号、和歌山市立博物館

〈資料紹介〉

2017. 3. 31 「史料翻刻『類集略記』補一上使・御名代・御忌筋・御法事・服御改・殿中（八・補）（九）」、『和歌山市史研究』45号、和歌山市立博物館

2017. 3. 31 「史料翻刻『類集略記』補一上々様・御祝儀編（一）～（五）」、『和歌山市史研究』45号、和歌山市立博物館

佐藤 顕

〈論文〉

2016. 4. 20 「一九世紀地方寺院組織の展開―曹洞宗能仁寺を中心に―」、白井哲哉・須田努編『地域の記録と記憶を問い直す―武州山の根地域の一九世紀―』、八木書店

2016. 12. 15 「幕長戦争における紀州藩従軍者の藩意識」、『研究紀要』31号、和歌山市立博物館

2017. 3. 30 「高野山麓地域の日常生活と信仰・旅―地土中橋英元を事例に―」、高橋陽一編『旅と交流にみる近世社会』、清文堂

〈コラム〉

2016. 9. 10 「徳川吉宗肖像画」、『ニュース和歌山』

2016. 9. 24 「旧徳川八代将軍宣下之図」、『ニュース和歌山』

2016. 10. 8 「赤坂御庭図画帖」、『ニュース和歌山』

2016. 10. 22 「鳩図」、『ニュース和歌山』

2016. 11. 5 「騎馬野馬図」、『ニュース和歌山』

小橋 勇介

〈図録〉

2016. 7. 16 『玉津島一衣通姫と三十六歌仙―』、和歌山市立博物館特別展図録

〈論文〉

2016. 4. 26 「中世における堤防と河川敷の景観」、荘園・村落史研究会編『中世村落と地域社会』、高志書院

2016. 5. 31 「元亀元年のある古文書について」、『木の国』35号、木国文化財協会

2017. 2. 28 「戦国期和歌山平野における荘園の様相」、『和歌山地方史研究』72号、和歌山地方史研究会

〈その他〉

2016. 12. 15 「加太・向井家文書目録」、『研究紀要』31号、和歌山市立博物館

高橋 克伸

〈論文〉

2016. 12. 15 「華岡青洲の門人・千葉理安の南紀遊学関係史料について（前編）―『南紀在留中書簡』を中心に―」、『研究紀要』31号、和歌山市立博物館

○職員の教育普及活動

額田 雅裕

2016. 7. 2 講演「歴史地理学からみた和田盆地の開発」と和歌山地方史研究会（於：和歌山県立博物館）

2016. 10. 22 「名所図会にみる城下町和歌山」エムズギャラリー12番丁

太田 宏一

2016. 7. 21 鉄砲鍛冶屋敷井上家（堺市堺区北旅籠町西1-3-22）鉄砲調査 堺市

山下 奈津子

2016. 5. 22 講演「紀州藩の茶道とやきもの」、表千家和歌山県青年部第9回総会、和歌山市立博物館 2階講義室

2017. 2. 23 研修講師「資料の保存・展示環境」、
和歌山大学紀州経済史文化史研究所第1回
資料保存・展示技能研修会、和歌山大学附属図
書館3階 マルチルームⅠ

佐藤 顕

2016. 7. 14 講演「徳川吉宗について」、メディア
交流会、たまな食堂（東京都港区）

高橋 克伸

2016. 4. 22 講演「華岡青洲について」、和歌山県
立医科大学

2016. 10. 1 「門人からみた春林軒における青洲の
医療について」、和歌山地域図書館協議会

4. 市史資料管理事業

平成4年度末に事業を完了した和歌山市史編纂事業の残務を引き継いだ事業である。主な業務は、『和歌山市史』残部の販売、他都市交換市史の受入、市史編纂過程で蒐集した資料の保存と整理、保存資料の活用方法の調査研究、『和歌山市史研究』の発行である。

平成28年度は、紀州藩目付の記録「類集略記」の翻刻・紹介を『和歌山市史研究』45号に掲載した。また、雄湊小学校の閉校に伴い、同校に保管中の蒐集資料を、鳴滝小学校と楠見西小学校へ移管した。

Ⅱ 収蔵資料概要

1. 購入資料概要

本館では計画的に郷土の歴史等に関する資料を購入している。本年度は美術工芸資料1件の資料を購入した。いずれも展示や研究に活用していく予定である。

●美術工芸

西本正治氏旧蔵資料 一括（325点）

2. 受贈資料概要

本年度は歴史資料14件、民俗資料9件、その他111件を御寄贈いただいた。今後大切に保管し、展示や研究に有効に活用したい。

●歴史

墜落B29の胴体に使われたジュラルミンの破片の溶解塊

	1点	土谷 功
上下（上衣と袴）	1組	高市 健次
和歌山都市計画図	1幅	

花王エコミュージアム 室長 儘田 明		
和歌山城関係資料	一式	宇治田忠昭
騎馬野馬図	1巻	

	和歌山ロータリークラブ	
映写機・フィルム	一式	土山 素生
新聞資料等	8件 31点	酒井 俊和

●民俗

彼岸念仏道具	一式	中川登志男
足踏みミシン	1台	貴志 和夫
幔幕	一式	嶋本 節子
モーニング	一式	嶋本 節子
押し寿司用木型	2組	嶋本 節子
コルク製飯びつ	1点	園部 俊治
銭杵	1点	園部 俊治
矢立て	1点	園部 俊治

模造刀 大小 2 振一組 園部 俊治

福島市教育委員会

●その他

高橋家旧蔵資料 78 件

高橋 俊雄・高橋 健二・高橋 信雄

薬関係資料等 33 件 177 点 田葉 元一
(敬称略)

福島市史資料叢書 第 96 輯 新聞資料集成 -平成の
福島 IV-

福島市教育委員会

福島市史資料叢書 第 97 輯 中村家文書

福島市教育委員会

考古学研究報告 第 9 集 団子山古墳 3 福島県須賀
川市団子山古墳第 5 次調査報告書

福島大学行政政策学類考古学研究室

第三七回特別展 まちのしるしーしるしが語る土浦の
近代ー

土浦市立博物館

紀要 第 26 号

土浦市立博物館

年報 第 28 号

土浦市立博物館

研究紀要 第 20 号

栃木県立文書館

研究紀要一人文一 第 33 号

栃木県立博物館

第一一四回企画展 宇都宮市市制一二〇周年記念 宇
都宮藩主 戸田氏ーその歴史と文芸ー

栃木県立博物館

第 116 回企画展 NIKKOー国際観光都市・日光の成立ー

栃木県立博物館

第 94 回企画展 幕末・明治・大正 しおやの医療史

さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館ー

紀要 第 37 号

群馬県立歴史博物館

平成 28 年度企画展 前方後円墳が消えるときー再考、

観音塚古墳の史的意義ー 高崎市観音塚考古資料館

野外研叢書 6 井澤弥惣兵衛為永ー見沼新田開発指導

者 その人と事績 NPO 法人野外調査研究所

野外研叢書 9 紀州鷹場ー埼玉県南にあった紀伊徳川

家の鷹場 NPO 法人野外調査研究所

第 26 回テーマ展 行田の足袋

行田市郷土博物館

第 30 回企画展 江戸湾沿岸警備と忍藩

行田市郷土博物館

研究報告 第 8 集

行田市郷土博物館

研究報告 第 20 号

千葉県立関宿城博物館

平成 26 年度 館報

市立市川歴史博物館

研究紀要 第 7 号

公益財団法人 通信文化協会博物館部

年報・紀要 第 8 号

野田市郷土博物館

3. 受贈図書概要

平成 28 年度に寄贈された図書は以下のとおりである。

研究紀要 第 1 号 北海道博物館

第 2 回特別展 ジオパークへ行こうー恐竜、アンモナイト、火山、地球の不思議を探す旅ー展示・ジオパークまるわかりガイドブック 北海道博物館

ビジュアル北海道博物館 北海道博物館

イカラカラーアイヌ刺繍の世界

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

紀要 第 28 号 根室市歴史と自然の資料館

研究紀要 第 11 号 花巻市博物館

研究紀要 17 東北歴史博物館

収蔵資料図録②服飾 改訂版 仙台市博物館

平成 27 年度年報 東北歴史博物館

年報 第 43 号 仙台市博物館

調査研究報告 第 36 号 仙台市博物館仙台市史編さん

事業報告書 ー仙台市制百周年記念事業ー

仙台市博物館

いっきに見る 仙台市史 仙台市博物館

紀要 第 48 号 東北学院大学東北文化研究所

収蔵資料図録③ 斎藤報恩会寄贈資料 仙台市博物館

年報 秋田県立博物館

年報 VOL. 28 米沢市上杉博物館

開館 15 周年記念特別展 米沢中納言上杉景勝

米沢市上杉博物館

開館 15 周年記念特別展 伊達氏と上杉氏ー館山城跡国

史跡指定記念ー 米沢市上杉博物館

福島市の文化財 福島市文化財調査報告書第 51 集

年報 第 17 号 平成 26 年度	伊能忠敬記念館	584 号	公益財団法人 日本博物館協会
研究紀要 第 22 号	千葉市立郷土博物館	安定化処理 ～大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト～	公益財団法人 日本博物館協会
君津市市宿「星野家日記」	千葉県立中央博物館	大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト 支援企画展	公益財団法人 日本博物館協会
妖怪と出会う夏 in Chiba 2015	千葉県立中央博物館	日本歴史 2016 年 5 月号 第 816 号	日本歴史学会
企画展示 万年筆の生活誌 -筆記の近代-	国立歴史民俗博物館	ブックレット 17 よみがえる古代武蔵国府	府中郷土の森博物館
オランダ・ドイツに所在するシーボルト関係地図資料	国立歴史民俗博物館	史観 第 174 冊・第 175 冊	早稲田大学史学会
ーライデン・ミュンヘン・ブランデンシュタイン城を中心にー	国立歴史民俗博物館	美術史研究 第 53 冊	早稲田大学美術史学会
歴博 第 195 号～第 200 号	国立歴史民俗博物館	古代 第 139 号	早稲田大学考古学会
よみがえれ！シーボルトの日本博物館	国立歴史民俗博物館	會津八一記念博物館所蔵 陶磁器目録	早稲田大学會津八一記念博物館
生誕 140 年 染谷亮作と川間村～農業と教育の理想を目指して～	野田市郷土博物館	被災写真救済の手引き 津波・洪水などで水損した写真への対応マニュアル	株式会社国書刊行会
企画展 身体をめぐる商品史	国立歴史民俗博物館	研究紀要 二〇一六	サントリー美術館
特集展示(国際展示) 台湾と日本一震災史とともにたどる近現代ー	国立歴史民俗博物館	水一神秘のかたち	サントリー美術館
千葉県の文書館 第 22 号	千葉県文書館	武士道	株式会社洋泉社
収蔵文書目録第三十集諸家文書目録 10	千葉県文書館	幕末三百藩 古写真で見る最後の姫君たち	『歴史読本』編集部 株式会社 KADOKAWA
館報 第 13 号	実践女子大学香雪記念資料館	週刊ビジュアル戦国王[001.]、[010.]	株式会社ハーパーコリンズ・ジャパン
第 37 回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「かたち」再考 -開かれた語りのために-	東京文化財研究所	週刊ビジュアル江戸三百藩 30 号、34 号、40 号、61 号	株式会社ハーパーコリンズ・ジャパン
日本美術年鑑平成 26 年版	東京文化財研究所	67 号	昭和館
美術研究 第 418 号～第 420 号	東京文化財研究所	館報 第 17 号	昭和館
生活と文化〔研究紀要第 25 号〕	豊島区立郷土資料館	昭和のくらし研究 第 14 号	昭和館
外交史料館報 第二十九号	外務省外交史料館	天下大変 江戸の災害と復興	江戸文化歴史検定協会
相撲 その歴史と技法	公益財団法人 日本武道館	超ビジュアルで学ぶ！戦国武将 150	株式会社宝島社
孤峰-江戸千家の茶道 4 月号～12 月号	江戸千家	別冊宝島 2495 号 高野山 1200 年の歴史舞台を歩く	株式会社宝島社
MUSEOLOGIST 31・MUSEUM STUDY 27	明治大学博物館事務室・学芸員課程	特別展 生誕 150 年 黒田清輝ー日本近代絵画の巨匠	株式会社美術出版社
研究紀要 第二十一号	出光美術館	佛教文化講座 第 60 集	浅草寺教化部
週刊マンガ日本史[改訂版]61	2016 年 5/1 号	調査報告書第 30 集 浅草地域のあゆみー江戸の信仰とにぎわいー	東京都江戸東京博物館
朝日新聞出版		調査報告書第三十一集 史料で読む 江戸の園芸文化	東京都江戸東京博物館
書陵部紀要 第六十七号	宮内庁書陵部		
書陵部紀要 第 67 号〔陵墓篇〕	宮内庁書陵部		
年報 第 23 号	東京家政学院生活文化博物館		
博物館研究 Vol.51No.5 通巻 575 号～Vol.52No.2 通巻			

紀要 第6号	東京都江戸東京博物館	江戸の花鳥画 博物学をめぐる文化とその表象	
三井美術文化史論集 第九号	三井記念美術館		株式会社講談社
特別展 松島瑞巖寺と伊達政宗	三井記念美術館	放送博物館の60年	NHK 放送博物館
特別展国立劇場開場五十周年記念 日本の伝統芸能展	三井記念美術館	開館75周年記念特別展円山応挙「写生」を超えて—	根津美術館
叛骨—陸奥宗光の生涯〈上〉〈下〉	(株)潮出版社	若き日の雪舟—初公開の「芦葉達磨図」と拙宗の水墨	根津美術館
日本歴史 2016年10月号	日本歴史学会	画—	根津美術館
紀要 第31号	品川区立品川歴史館	紀要 此君 第七号	根津美術館
平成28年度特別展 品川産業事始—日本を支えた近代	品川区立品川歴史館	古伊万里図鑑—山本コレクション総目録—	根津美術館
産業群—			
移管資料展(3) 「民族衣装ってポップ、刺繍」	東京家政学院生活文化博物館	MdN[エムディエム]3月号	(株)エムディエヌコーポレーション
別冊太陽 日本のこころ 246 古墳時代 美術図鑑	株式会社平凡社	孤峰—江戸千家の茶道二月号、三月号	江戸千家
シリーズ〈本の文化史〉4 出版と流通	株式会社平凡社	大河ドラマ特別展「真田丸」 NHKプロモーション	
ビジュアル図鑑 日本の歴史 株式会社学研プラス		水軒堤防ものがたり	花王株式会社
日野市立新撰組のふるさと歴史館叢書 第二十四輯	日野市	特別展「土器から見た大田区の弥生時代—久ヶ原遺跡	大田区立郷土博物館
特別展 幕臣攘夷派—浪士から江戸開城へ 山岡鉄周	日野市	発見、90年—」図録	国學院大學博物館
らの軌跡—	日野市	研究報告 第32輯・第33輯	国學院大學博物館
旧太子堂村 森家文書 御用留三 世田谷叢書第十集	世田谷区立郷土資料館	博物館學紀要 第41輯 國學院大學博物館学研究室	
平成28年度特別展図録 国重要文化財指定記念 野毛	世田谷区立郷土資料館	學美術史學 第三十一号 実践美学美術史学会	
大塚古墳展	世田谷区立郷土資料館	ポスターに描かれた昭和〜高橋春人の仕事〜 昭和館	
歴史人 12 NO.72	KKベストセラーズ	紀要 第28集・第29集 川崎市市民ミュージアム	
タツミムック最新研究が教えてくれる!あなたの知らない戦国史	辰巳出版株式会社	研究報告 No.52 小田原市郷土文化館	
「國華清和会」会報 第27号・第28号 國華社		春季特別展 ひらつかの家康伝説—由緒と地域—	平塚市博物館
紀州藩主 徳川吉宗 明君伝説・宝永地震・隠密御用	吉川弘文館	夏季特別展 古代生活実験室—とにかくやってみよ	平塚市博物館
研究紀要 第26号 東京大学史料編纂所		う!—	平塚市博物館
所報 第51号 東京大学史料編纂所		年報 第39号	平塚市博物館
第三七回史料展覧会 史料を後世に伝える営み	東京大学史料編纂所	研究報告 自然と文化 第39号	平塚市博物館
出光美術館50年史 出光美術館		歴史をひもとく藤沢の資料 1 御所見地区	藤沢市文書館
世界遺産年報2017 No.22	(社)日本ユネスコ協会連盟	藤沢市史料集 (三十九)(四十)	藤沢市文書館
港湾 十二月号 第九十三卷 第十二号	日本港湾協会	藤沢市文書館紀要 第三十四号	藤沢市文書館
		紀要 第三四号	横浜開港資料館
		民具マンスリー 第49巻1号〜12号	
		神奈川大学日本常民文化研究所	
		横浜市歴史博物館調査研究報告 第12号	(財)横浜市ふるさと歴史財団
		称名寺貝塚 土器とイルカと縄文人	

	横浜市歴史博物館	加賀・能登王墓の世界	石川県立歴史博物館
すくすく子育てみんなの願い—出産と育児をめぐるモノがたり—	横浜市歴史博物館	石川の歴史遺産セミナー講演録 第23回「加賀」	石川県立歴史博物館
大昔のくらしをさぐる	横浜市歴史博物館	館報（平成26年度）	福井県立若狭歴史博物館
平成27年度「学校内歴史資料室を活用した博物館デビュー支援事業」 年報	横浜市歴史博物館	特別展 城下町福井の町と人	
資料目録 第24集	横浜市歴史博物館	福井県立歴史博物館（教育委員会）	
紀要 第二十号	(財)横浜市ふるさと歴史財団	館報(平成27年度)	福井県立若狭歴史博物館
楽しい浮世絵ヒストリー 丹波コレクションの世界		一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2015	
(財)横浜市ふるさと歴史財団		福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	
わがまち横浜再発見 ヨコハマ3万年の交流 横浜のあゆみ ヒト・モノ・マチ		第34回特別展 よみがえる武士の魂—鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化—	山梨県立考古博物館
(財)横浜市ふるさと歴史財団		市誌研究 ながの 第二三号	
焼け跡に手を差しのべて—戦後復興と救済の軌跡—		長野市総務部庶務課	長野市公文書館
横浜都市発展記念館		年報 2014	松本市立博物館
女の子と男の子のお雛さま～桃と端午の節句人形～		長野市立博物館 紀要 第17号（人文系）	
平塚市博物館			長野市立博物館
歴史と民俗 33 神奈川大学日本常民文化研究所論集 33		海津城の主たち 長野市立博物館	
神奈川大学日本常民文化研究所		伊勢町八田家所蔵品調査報告（兼長野市立博物館 収蔵資料目録 民俗3 歴史16）	長野市立博物館
新潟市のあゆみ(増補改訂版)		真田宝物館収蔵品目録 真田家旧蔵資料目録 一機	
新潟市文化スポーツ部歴文化課		械・彫刻・勲章—	松代文化施設等管理事務所
「新潟まつりの歴史をさぐる」	新潟市歴史博物館	平成28年 真田宝物館特別企画展図録「戦国の真田」	
第四国立銀行展図録	新潟市歴史博物館		松代文化施設等管理事務所
近世黎明—堀直寄と新潟—	新潟市歴史博物館	第6回戦争と平和展—戦争の記憶と記録から平和を考える	松本市立博物館
年報 第29号 平成26年度	高岡市立博物館	松代 29号	長野市教育委員会文化財課
和船建造技術を後世に伝える会調査報告書Ⅴ とやまの海と船	氷見市立博物館	年報 2015	松本市立博物館
平成27年度 年報 一第34号—	氷見市立博物館	土岐市美濃陶磁歴史館 特別展「美濃陶祖伝—信長の朱印状と桃山陶—」	土岐市美濃陶磁歴史館
むかしの子どものお手伝い	氷見市立博物館	特別展 豊臣から徳川へ—徳川美術館の名品で綴る—	
向島文庫目録 第6集 向島文庫（雑項Ⅱ）目録			岐阜市歴史博物館
氷見市立博物館		紀要 40	沼津市歴史民俗資料館
特別展 氷見の昔の道具たち 一民具からみる地域のくらし—	氷見市立博物館	資料集 29 古文書（16） 長浜 大川家（大屋）文書目録	沼津市歴史民俗資料館
平成28年度 特別展図録 霊峰立山—立山信仰を探る—		浜松市博物館特別展 徳川家康顕彰四百年記念事業	
富山県埋蔵文化財センター		徳川家康 天下取りへの道 一家康と遠江の国衆—	
年報—平成27年度—	富山県埋蔵文化財センター		浜松市博物館
特別展 四角い古墳・丸い古墳—王墓の時代の氷見—		館報 21 一平成26年度—	静岡市立登呂博物館
氷見市立博物館（教育委員会）		市民が見た昭和の戦争	沼津市明治史料館
城下町金沢は大にぎわい！	石川県立歴史博物館		

館報 22 —平成 27 年度—	静岡市立登呂博物館	紀要 第二十二号	栗東歴史民俗博物館
特別展 遠江の木喰仏図録	浜松市博物館	年報 平成 27 年度	彦根城博物館
江梨歳時記 写された海辺のくらし		平成 27 年度 年報	賀県立安土城考古博物館
	沼津市歴史民俗資料館	第 53 回企画展・琵琶湖文化館収蔵品特別陳列 表現された神と仏	滋賀県立安土城考古博物館
平成 28 年度 第 2 回企画展「駿豆争乱 国境の攻防」	沼津市明治史館	第 54 回企画展 近江の古墳時代	
岡崎市美術博物館年報 平成 25・26 年度			滋賀県立安土城考古博物館
	岡崎市美術博物館	平成 28 年度春季特別展 信長の家臣たち	
企画展 安城の文化財 —モノ語り名品展Ⅲ—			滋賀県立安土城考古博物館
	安城市歴史博物館	平成 28 年度秋季特別展 飛鳥から近江へ 天智天皇の意図を探る	滋賀県立安土城考古博物館
研究紀要 第 39 巻 2016	名古屋市博物館	企画展 参勤交代と彦根藩領—大名行列を迎えた人々	彦根城博物館
資料叢書 3 猿猴庵の本（第 22 回配本） 東街便覧図略 巻五	名古屋市博物館		
年報 第 25 号 平成 27 年度	安城市教育委員会	開館 30 周年記念 特別展 コレクター大名井伊直亮—知られざる大コレクション全貌—	彦根城博物館
聖徳太子絵伝模写完成記念特別展 まねる うつす つたえる	安城市歴史博物館（教育委員会）	人間文化 41 号	滋賀県立大学人間文化学部
特別展 安城ゆかりの大名 家康の名参謀 本多正信	安城市歴史博物館	文化財修理報告書 VOL.14（2016） 楽浪文化財修理所	
		第 24 回企画展示 開館 20 周年記念 びわ博カルタ見る知る楽しむ新発見	滋賀県立琵琶湖博物館
企画展 陶磁器図案家 馬淵利貞～昭和初期の産業デザイン～	瀬戸蔵ミュージアム	教職実践研究 第 2 号	滋賀大学教育学部
浮世絵から見る海女 AMA in UKIYO 海の博物館		第 30 回特別展 ふるさと亀岡のお城—平城・平山城・山城・城館—	亀岡市文化資料館
史跡斎宮跡 平成 26 年度 発掘調査概報	斎宮歴史博物館	第 59 回企画展 戦後 70 年、あのときの亀岡 —戦争平和展 2015—	亀岡市文化資料館
史跡斎宮跡東部整備事業報告書	斎宮歴史博物館	2014 年度 年報 23 京都工芸繊維大学美術工芸資料館	
伝えたい、みえ熊野のいま おくまの 2016.5 Vol.7	みえ熊野学研究会	博物館学年報 第 47 号 同志社大学博物館学芸員課程	
平成 28 年度特別展 古代の出雲—その限らない魅力—	斎宮歴史博物館	研究紀要 第四八号	花園大学文学部
		京都府埋蔵文化財調査報告書（平成 27 年度）	
会報 第三十三号	鈴屋学会		京都府教育委員会
学芸員課程報告書 第 18 号	滋賀県立大学学芸員課程	社会科学 第 46 巻第 1 号 同志社大学人文科学研究	
研究紀要 第三十二号	滋賀県立琵琶湖文化館	頭如 信長も恐れた「本願寺」宗主の実像	株式会社宮帯出版社
研究紀要 第 26 号	彦根城博物館		
開館 25 周年記念企画展「広重の旅 浮世絵・近江・街道」	大津市歴史博物館	平成 27 年度 国宝修理装演師連盟第 21 回定期研修会	国宝修理装演師連盟
研究紀要 21	大津市歴史博物館	金閣寺方丈杉戸絵奉納 10 周年記念 いのち賛歌 森田りえ子作品集	株式会社 青幻舎
紀要 第 65 号	滋賀大学教育学部	展示図録 38 相楽木綿 10 年のあゆみ —復元と伝承の取り組み—	京都府立山城郷土資料館
教職実践研究 第 1 号	滋賀大学教育学部	年報	京都大学総合博物館
研究年報 第 13 巻第 1 号（通巻第 13 号）	滋賀大学環境総合センター		

博物館学年報 第22号 2016年3月1日

京都女子大学・博物館学芸員課程
縄文と現代 京都造形芸術大学 芸術館

学芸員課程研究報告 第19冊 久米田古墳群発掘調査
報告 立命館大学文学部

第二十五代専如門主 伝灯奉告法要記念 特別展「浄
土真宗と本願寺の名宝Ⅰ―受け継がれる美とこころ―

龍谷大学龍谷ミュージアム
収蔵資料調査報告書 18 戦争関係資料 2

宇治市歴史資料館
年報 平成26年度・2014 宇治市歴史資料館

JR奈良線120年 進め!!奈良鉄道
宇治市歴史資料館

第61回企画展 中川小十郎 一馬路村より立命館創立
者へ― 亀岡市文化資料館

第60回企画展 季節の楽しみ 一行事食と暮らしの道
具― 亀岡市文化資料館

展示図録 39 山城の二大古墳群―乙訓古墳群と久津川
古墳群― 京都府立山城郷土資料館

丹後の紙漉き―和紙と生きる人びとのあゆみとゆくえ
― 京都府立丹後郷土資料館

京都府埋蔵文化財情報 第130号
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター

館報 第21号 大山崎町歴史資料館
第二四回企画展 堺と大山崎―自治都市の系譜―

大山崎町歴史資料館
2015(平成27)年度年報 京都府京都文化博物館

研究紀要 朱雀 第28集 京都府京都文化博物館
館報 第19号 同志社大学歴史資料館

茶道教養講座⑩ 茶道は語る 株式会社 淡交社
キリスト教社会問題研究 第65号

同志社大学人文科学研究所
研究紀要 第二十六号 野村美術館学芸部

和歌の浦の誕生 古典文学と玉津島社
清文堂出版株式会社

平成27年度夏季企画展 シリーズハニワワールドへよう
こそ 大王墓にみる動物埴輪

高槻市立今城塚古代歴史館
関西大学博物館紀要 第22号 関西大学博物館

平成28年度春季企画展図録 なごみのガラス―坂崎幸
之助 和ガラスコレクション― 関西大学博物館

大和国宇陀郡松山町 森野家文書― 成巻文書 ―森
野吉野葛本舗・森野旧薬園伝来史料―

大阪大学適塾記念センター
志学台考古 第16号 一年代・産地・分析等―

大阪大谷大学 歴史文化学科
歴史文化研究 第16号 大阪大谷大学 歴史文化学科

大和・山城周辺国の仏像 大阪大谷大学博物館
報告書 第63冊 大阪大谷大学博物館

古墳とは何か―葬送儀礼からみた古墳―
大阪府立近つ飛鳥博物館

平成28年度春季特別展 図録 69
大阪府立近つ飛鳥博物館

館報 19 大阪府立近つ飛鳥博物館
平成28年度(2016年度)春季特別展 “田園都市” 千

里山～大正時代の理想郷～ 吹田市立博物館
緒方洪庵全集第四巻 日記 書状(その一)

大阪大学出版会
大阪大学総合学術博物館叢書 12 侍兼山少年 大学と

地域をアートでつなぐ《記憶》の実験室
大阪大学出版会

阪南市埋蔵文化財報告 54 阪南市埋蔵文化財発掘調査
概要 33 阪南市教育委員会

阪南市埋蔵文化財報告 54 鳥取南遺跡発掘調査報告書
90―1区・14―2区 阪南市教育委員会

館報 第1号 茨木市立文化財資料館
茨木に眠る資料―免山篤コレクションを中心に― 展

示図録 茨木市立文化財資料館
龍王山をめぐる信仰と人々―山岳寺院の軌跡― 展示

図録 茨木市立文化財資料館
開館25周年記念 平成28年度春季特別展 鉄の弥生

時代―鉄器は社会を変えたのか?―
大阪府立弥生文化博物館

泉南市遺跡郡発掘調査報告書XXXⅢ 泉南市文化財
調査報告書 第56集 泉南市教育委員会

岸和田市史史料第十二輯 熊沢友雄日記(7) 明治二
十六(一八九三)年～明治二十八年

岸和田市教育委員会

杏雨 第 19 号 (財)武田科学振興財団 杏雨書屋
館報 (平成 27 年度)・研究紀要第 27 号
八尾市立歴史民俗資料館
論集 他界論 調査研究報告書 第 2 冊
大阪大谷大学歴史文化学科
満州から引き揚げて ―八十五年の思い出―
株式会社 風詠社
平成 26 年度 要覧 大阪府立弥生文化博物館
史泉 第 124 号 関西大学文学部史学
「世界の文字の物語―ユーラシア文字のかたち」
大阪府立弥生文化博物館
《平成 25 年度 池上曾根史跡公園協会要覧》
池上曾根史跡公園協会
泉大津市文化財調査報告 52 泉大津市埋蔵文化財発掘
調査概要 35 泉大津市教育委員会
館蔵資料集 12 旧大阪市都市工学情報センター所蔵写
真「都市と水辺」 大阪歴史博物館
研究紀要 第 14 号 大阪歴史博物館
共同研究成果報告書 10 「大坂の両替商銭屋佐兵衛家
の研究と展示」 大阪歴史博物館
柏原市古文書調査報告書第十一集 河内国安宿部郡国分
村 南西尾家文書目録Ⅲ 柏原市立歴史資料館
館報 28 柏原市立歴史資料館
江戸時代の国分村 柏原市立歴史資料館
平成二十八年度夏季企画展図録 まじなうー古代の祈
りの道具たちー 柏原市立歴史資料館
平成 28 年度 特別展示 山畑古墳群のあゆみ 展示解
説書 東大阪府立郷土博物館
小児を救った種痘学入門―ジェンナーの贈り物― 緒
方洪庵記念財団・除痘館記念資料室撰集
株式会社 創元社
大寺さん ―信仰のかたちをたどる― 堺市博物館
平成二八年度秋季企画展 キリシタン墓とその前史―
摂津の人びとが生きた証― 大阪府立弥生文化博物館
平成 28 年度 秋季特別展 大王と豪族―6 世紀の大和
と河内― 大阪府立近つ飛鳥博物館
出土品にみる色と輝き 大阪府立近つ飛鳥博物館
館報 16 平成 26 年度 (2014 年度) 版 吹田市立博物館
平成 28 年度 (2016 年度) 秋季特別展 古代の港か？

祭場か？―五反島遺跡の謎に迫る― 吹田市立博物館
大阪城・上田城友好城郭提携 10 周年記念 特別展 真
田幸村の生涯を彩った人たち 大阪城天守閣
懷徳堂の至宝―大阪の「美」と「学問」をたどる―
大阪大学総合学術博物館
平成二八年度 特別展 内国博で地域振興！？ ―明治
の夢、大大阪を拓く― 池田市立歴史民俗資料館
おほつ研究 (Vol. 10) <研究紀要> 泉大津市立織編館
絵図で楽しむ茨木―江戸時代の村を巡る―展示図録
茨木市立文化財資料館
大阪歴史博物館年報 平成 27 年度 大阪歴史博物館
2016 年度特別展 戦国乱世と山科本願寺
大阪大谷大学博物館
紀要 20 和泉市久保惣記念美術館
第六次久保惣コレクション 和泉市久保惣記念美術館
江川コレクション 中国古代金属器から西洋近代ガラ
ス器まで 和泉市久保惣記念美術館
阪急文化研究年報 第 5 号 (財)阪急文化財団
絵図で楽しむ茨木―江戸時代の村を巡る― 展示図録
茨木市立文化財資料館
近代大阪職人図鑑 ―ものづくりのものがたり―
大阪歴史博物館
親から子へ伝える、近つ飛鳥の歴史遺産価値創造事業
近つ飛鳥への招待
近つ飛鳥の歴史遺産事業実行委員会
史泉 第 125 号 関西大学文学部史学
関西圏大学ミュージアム連携活性化事業／交流する大
学ミュージアムを目指して―大学の扉を開く―実施報
告書 かんさい・大学ミュージアム連携実施委員会
平成 28 年秋季企画展 王権儀礼に奉仕する人々
高槻市立今城塚古代歴史館
平成 29 年春季特別展 太田茶臼山古墳の時代―王権の
進出と三島― 高槻市立今城塚古代歴史館
平成 28 年度冬季企画展 歴史発掘おおさか 2016―大
阪府発掘調査最新情報― 大阪府立近つ飛鳥博物館図
録 71 大阪府立近つ飛鳥博物館
館報 41 (平成 27 年度) 大阪府立自然史博物館
平成 28 年度 特別展 河内の群集墳を探る
八尾市立歴史民俗資料館

藝術文化雑誌 紫明/第三十七號・第三十八號

能楽資料館（紫明の会）

平成 27 年度特別展 上郡町合併 60 周年記念『上郡の歌人たち』 上郡町郷土資料館

姫路市史編集資料目録集 66 姫路市教育委員会

紀要 文学編第 166 号（2015 年度） 甲南大学文学部

世界文化遺産姫路城 公式ガイドツール整備調査研究

事業 報告書 播磨学研究所

紀要 第 19 号 播磨学研究所

姫路市史 第六巻 本編 近現代 3 姫路市

国指定重要文化財 宮山古墳出土品

姫路市教育委員会

紀要 古文化研究第十五号 (財)黒川古文化研究所

研究図録シリーズⅡ 中国鏡でめぐる神仙世界

(財)黒川古文化研究所

地域研究いたみ 第四五号 伊丹市立博物館

紀要 10 姫路市書写の里・美術工芸館

年報 姫路市書写の里・美術工芸館

館報 2013・2014 兵庫県立歴史博物館

紀要 塵界 第二十七号 兵庫県立歴史博物館

紀要 創刊号 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室

特別企画展 出石焼—但馬のくらしとやきもの— 公

式ガイドブック 兵庫県立歴史博物館

第三十二回特別展示「西宮町人の生活と文化—江戸時

代の日記を読み解く—」 西宮市立郷土資料館

西宮歴史調査団年報 2014 年度版

西宮市立郷土資料館

井上通泰～歌を詠み愛した眼科医～

福崎町立柳田國男・松岡家記念館

館蔵品目録 考古・歴史の部 32 神戸市立博物館

研究紀要 第 32 号 神戸市立博物館

忠臣蔵から村文書まで —西播磨のアーカイブ—

たつの市立龍野歴史文化資料館

平成 28 年度特別展 激動の時代、幕末志士たちの美—

藤本鉄石・河野鉄兜を中心に—

赤穂市立美術工芸館 田淵記念館

年報 姫路市書写の里・美術工芸館

関西学院史学 第 44 号 関西学院大学史学会

兵庫陶芸美術館研究紀要第 7 号 兵庫陶芸美術館

やきものを分析する—釉薬編— 兵庫陶芸美術館

いま、ここで出会う 交差する現代陶芸コレクション

兵庫陶芸美術館

紀要 文学編 第 167 号（2016 年度） 甲南大学

研究報告 第 4 号 伊丹市昆虫館

五條猫塚古墳の研究 総括編・報告編・写真図版編

奈良国立博物館

2015（平成 27）年度玄関ホール写真展 「私がとらえ

た 大和の民俗 -衣-」 奈良県立民俗博物館

紀要 第 30 号 奈良県立美術館

年報 -平成 26 年度- 奈良県立美術館

平成 28 年度春季企画展「弥生遺産Ⅳ～唐古・鍵遺跡の

土製品・ガラス etc. ～」 唐古・鍵考古学ミュージア

ム展示図録 Vol.20 田原本町教育委員会

平成 23(2011)年度～平成 26(2014)年度 橿原市文化財

調査年報 橿原市教育委員会

平成 28 年度春季特別展 やまとのみやけと女性司祭者

—史跡島の山古墳発掘 20 年—

県立橿原考古学研究所附属博物館

平成 28 年度春期特別展文化財を撮る—写真が遺す歴史

飛鳥資料館

年報第 3 号（平成 26 年度）桜井市纏向学研究センター

研究紀要纏向学研究第 4 号 桜井市纏向学研究センター

報ⅩⅠ 帝塚山大学附属博物館

研究報告ⅩⅧ 帝塚山大学考古学研究所

常設展示目録 帝塚山大学附属博物館

第六十七回「正倉院展」目録 奈良国立博物館

The 67th Annual EXHIBITION OF SHŌSŌ-IN TREASURES

奈良国立博物館

特別陳列 和紙—近代和紙の誕生— 奈良国立博物館

特別展 国宝 信貴山縁起絵巻—朝護孫子寺と毘沙門

天王信仰の至宝— 奈良国立博物館

特別陳列 銅造伊豆山権現像修理記念 伊豆山神社の

歴史と美術 奈良国立博物館

特別陳列 お水取り 奈良国立博物館

平成二十七年度 特別陳列 おん祭と春日信仰の美術

—特集 御旅所— 奈良国立博物館

紀要 2016 国立文化財機構奈良文化財研究所

大和を掘る 34 —2015 年度発掘調査速報展—

県立橿原考古学研究所附属博物館
 田原本町文化財調査年報 24 田原本町教育委員会
 唐古・鍵遺跡考古資料目録Ⅰ ―土器編 1 (絵画・記
 号・文様)― 田原本町教育委員会
 概要 2016 奈良文化財研究所
 桜井市制 60 周年記念特別展示「拓かれた扉」～桜井の
 郷土史研究はいかにして始まったか～
 桜井市文化財協会 (教育委員会)
 平成 28 年度秋季特別展 蘇我氏を掘る
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
 平成 28 年度秋期特別展 祈りをこめた小塔
 奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
 平成 28 年度 秋季企画展「小林家文書展」 唐古・鍵
 考古学ミュージアム 展示図録 Vol. 21
 唐古・鍵考古学ミュージアム
 天理参考館報 第 29 号 天理大学附属天理参考館
 平成 28 年度企画展 埴輪があった！古墳もあった？
 公益財団法人桜井市文化財協会
 シンポジウム「国家誕生の地、桜井を語る」～マキム
 クからイワレへ、大王の歩んだ道～
 公益財団法人桜井市文化財協会
 生誕 800 年記念特別展 忍性―救済に捧げた生涯―
 奈良国立博物館
 第六十八回「正倉院展」目録[平成二十八年]
 奈良国立博物館
 The 68th Annual EXHIBITION OF SHOSO-IN TREASURES
 奈良国立博物館
 平成二十八年度 特別陳列 おん祭と春日信仰の美術
 ―特集 奈良奉行所のかかわり― 奈良国立博物館
 なら仏像館 名品目録 2016 奈良国立博物館
 平成 28 年度冬期企画展 飛鳥の考古学 2016 早川和
 子が描く飛鳥むかしむかし
 奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
 さわって体感考古学!!
 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
 特別陳列図録 第 22 冊 ヤマトの戦士―古墳時代の武
 器・武具― 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
 平成二八年度春季企画展「大和と河内・堺の往来」―
 江戸時代の竹内街道と大和川― 葛城市歴史博物館

葛城古寺探訪―二上・葛城・金剛山麓の古代寺院―
 葛城市歴史博物館
 あかね第三十六号 御坊文化財研究会
 岩橋遺跡 第 7 次発掘調査報告書
 (財)和歌山市文化スポーツ振興財団
 館報 平成 26 年度第 33 号 和歌山県立自然博物館
 海南市内遺跡発掘調査概報 海南市教育委員会
 信愛紀要 第 56 号 和歌山信愛女子短期大学
 絵でたどる熊野信仰の歴史 和歌山県立博物館
 熊楠研究 第十号 南方熊楠研究会
 きのくに文化財第 49 号・50 周年記念号
 (社)和歌山県文化財研究会
 紀要 第十八号 和歌山県立文書館
 古文書徹底解釈 紀州の歴史第三集 和歌山県立文書館
 紀の川市内遺跡発掘調査概要報告書 ―平成 26 年度―
 紀の川市教育委員会
 太田・黒田遺跡 第 78 次発掘調査報告書
 (財)和歌山市文化スポーツ振興財団
 和歌山市内遺跡発掘調査概報-平成 26 年度 -
 和歌山市教育委員会
 和歌山城郭研究 第 15 号 2016 年
 和歌山城郭調査研究会
 和歌山県埋蔵文化財調査年報―平成 26 年度―
 和歌山県教育委員会
 大谷山 22 号墳、天王塚古墳―特別史跡岩橋千塚古墳追
 加指定に伴う発掘調査報告書― 和歌山県教育委員会
 館報 第 30 号 前田家蔵、乃木希典「爾靈山詩」・志
 賀重昂「和詩」について 《附》司馬遼太郎『坂の上
 の雲』の「創作」 橋本市郷土資料館
 濱口梧陵傳 広川町教育委員会
 紀州の刀装具《非売品》
 日本美術刀剣保存協会和歌山県支部
 研究紀要第 3 号、第 4 号 和歌山県立紀伊風土記の丘
 年報 第 41 号 和歌山県立紀伊風土記の丘
 木の国 第三十五号 木国文化財協会
 地宝のひびき―和歌山県内文化財調査報告会―資料集
 和歌山県文化財センター
 年報 2015 和歌山県文化財センター
 和歌山城跡 ―和歌山地方合同調査新築に伴う発掘調

- 査報告書— 和歌山県文化財センター
小松原Ⅱ遺跡・湯川氏館跡 —湯川中学校改築工事に
伴う発掘調査報告書— 和歌山県文化財センター
川辺遺跡 —都市計画道路西脇山口線道路建設事業に
伴う発掘調査報告書— 和歌山県文化財センター
木津遺跡 —国道424号道路改良事業に伴う発掘調査
報告書— 和歌山県文化財センター
西渋田遺跡・東渋田遺跡 —和歌山橋本線道路改良事
業に伴う発掘調査報告書 和歌山県文化財センター
和歌山県伊都郡かつらぎ町文化財調査報告書第9集
平成26年度 かつらぎ町埋蔵文化財調査年報
かつらぎ町教育委員会
特別展図録『小説「有田川」の世界』—有田市市制施
行60周年記念特別展— 有田市郷土資料館
戦乱の世から泰平の世へ —16～17世紀の紀北・泉南
地域— 和歌山県立博物館
熊野(改題くちくまの)第一五〇号 紀南文化財研究会
和歌山地方史研究 71 和歌山地方史研究会
館報 平成27年度 第34号 和歌山県立自然博物館
平成二十八年度 特別史跡追加指定・大日山35号墳出
土品重要文化財指定記念特別展「岩橋千塚とその時代
—紀ノ川流域の古墳文化—」
和歌山県立紀伊風土記の丘
特別史跡岩橋千塚古墳群 発掘調査・保存整備事業報告
書3—大日山35号古墳・前山A13号墳・前山A58号墳発
掘調査報告書— 和歌山県立紀伊風土記の丘
私の履歴書 帯伊書店ものがたり 紀伊国名所図会とと
もに 有限会社帯伊書店
熊野(改題くちくまの)第一五一号 紀南文化財研究会
本町小学校 創立50周年記念誌「強正明」
和歌山市立本町小学校
和歌山県医師会史(上・下巻) 和歌山県医師会
紀州経済史文化史研究所紀要 第37号
和歌山大学紀州経済史文化史研究所
2016年特別展 道成寺の縁起 伝承と実像
和歌山大学紀州経済史文化史研究所
企画展「和歌山移民村上安吉(1880—1944)のライフス
トーリー—濠洲から郷里の母に送った写真をとおして」
和歌山大学紀州経済史文化史研究所
- 和歌山地方史研究 72 和歌山地方史研究会
蘆雪潑刺—草堂寺と紀南の至宝— 和歌山県立博物館
熊野誌(第六十三号) 船上光次
研究紀要 第二十二号 和歌山県立博物館
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 —平成26年度
(2014年度)—
(財)和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センター
語りつぐ記憶・伝えていく平和の思い —おかやまの
戦争・戦争体験集— 岡山市
館報 第25号(平成27年度) 倉敷市立自然史博物館
研究報告 第31号 倉敷市立自然史博物館
希代の人 没後70年 津田白印展
笠岡市立竹喬美術館
生活文化研究所年報 第29輯・第30輯(最終号)
ノートルダム清心女子大学生活文化研究所
年報 平成27年度 津山郷土資料館
パリに生きるパリを描く —M氏秘蔵コレクションに
よる— 笠岡市立竹喬美術館
平成28年度特別展図録 行列を組む武士たち—津山藩
松平家の行列図より— 津山郷土博物館
近代花鳥の巨匠 榊原紫峰展 笠岡市立竹喬美術館
第39回 岡山戦災の記憶と写真展—空襲とわたしのま
ち岡山— 岡山空襲展示室
岡山びと The" okayamabito" —岡山シティミュージ
アム紀要— 第10号(Vol. 10) The tenth issue
(『岡山学こと始め』改題 通巻第13号)
岡山シティミュージアム
広島県立文書館紀要 第13号 広島県立文書館
和風 第133号～第135号 上田流和風堂
(公財)広島市文化財発掘調査報告書 第3集 鳥越
古墳—広島市安佐南区緑井八丁目所在—
(財)広島市文化財団 文化科学部 文化財課
(公財)広島市文化財発掘調査報告書 第4集 中山西
遺跡—広島市東区中山西二丁目所在—
(財)広島市文化財団 文化科学部 文化財課
山口県立美術館年報 平成25年～26年度
山口県立美術館
報告 第51号 美祢市立秋吉台科学博物館
開館五周年記念 講演会「鳥居龍蔵の再発見-国内外の

- 視点から-」参考資料1 図説 鳥居龍蔵伝（複製版）・参考資料2 鳥居龍蔵博士の思い出（複製版）
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
開館5周年記念 講演会「鳥居龍蔵の再発見-国内外の視点から-」講演要旨集・報告書
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
新編 みんなで学ぼう！鳥居龍蔵
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
Let's Learn Together about Torii Ryuzo!
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
開館5周年企画展 鳥居龍蔵-世界に広がる知の遺産-
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
年報 第6号（平成27年度）
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
研究報告 第26号 徳島県立博物館
年報 第25号（平成27年度） 徳島県立博物館
企画展図録 徳島藩絵師のすがお一伝えられた絵手本や写しから— 徳島県立博物館
年報 第24号（平成27年度） 徳島市立徳島城博物館
坂東宗稜と近代徳島の茶の湯 徳島市立徳島城博物館
高松松平家歴史資料目録Ⅳ 能面 能楽器
香川県立ミュージアム
収蔵資料目録8 香川県立ミュージアム
ミュージアム 調査研究報告 第7号
香川県立ミュージアム
年報 第8号（平成27年度） 香川県立ミュージアム
西日本の背負運搬具コレクション 目録
香川県立ミュージアム
村上家乗 安政五年・六年 広島県立文書館資料集9
広島県立文書館
平成27年度企画展 むかしのごちそう
愛媛県歴史文化博物館
平成27年度特別展図録 四国遍路と巡礼
愛媛県歴史文化博物館
史料目録第24集 愛媛の祭りと芸能写真目録
愛媛県歴史文化博物館
研究紀要 第21号 愛媛県歴史文化博物館
松山市埋蔵文化財調査年報 27 松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第180集 文京遺跡—53
次・54次調査— 松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第181集 桑原地区の遺跡
V 桑原6次・桑原東稲葉1次 桑原東稲葉2次・樽味高木16次 樽味高木17次・三町
松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第185集 衣山西ノ岡古墳
衣山大塚北遺跡 松山市教育委員会
人文学論叢 第17号・第18号 愛媛大学人文学会
法文学部論集 人文学科編 第41号・第42号
愛媛大学文学部法文学部
年報 平成26年度 No.24 高知県立歴史民俗資料館
研究紀要 第20号 2015（平成27年度）
高知県立歴史民俗資料館
年報 平成27年度 NO.25 高知県立歴史民俗資料館
柳川文化資料集成第一集一二 井上文雄判 柳河藩歌
合集 柳川市
史料目録第26集 立花帯刀家文書目録 柳川古文書館
柳川古文書館年報 平成27年度 柳川古文書館
風景王国 —柳川ゆかりの洋画家龍駿介がみた山河—
柳川古文書館
日韓交渉の考古学—古墳時代— 第3回共同研究会
日韓4～5世紀の土器・鉄器生産と集落
福岡大学人文学部考古学研究室
研究論集 41 二〇一六年三月 平成二十七年度
九州歴史資料館
福岡県中近世城館遺跡等詳細分布調査報告書3 福岡
県の中近世城館跡Ⅲ 福岡県教育委員会
年報16（平成26年度） 筑紫野市歴史博物館
年報 平成26年度 研究報告 B類 歴史 第13号
北九州市立自然史・歴史博物館
年報21 平成24（2012）年度 福岡市博物館
研究紀要 第二十四号・第二十五号 福岡市博物館
収蔵品目録 29～31 福岡市博物館
国史跡指定記念企画展「船原古墳展」
古賀市教育委員会
科研費基盤研究A 「日韓交渉の考古学—古墳時代」
福岡大学人文学部考古学研究室
国史跡指定記念企画展船原古墳展 古賀市教育委員会
真夏のトピック展示「全国高等学校考古名品展2016」

九州国立博物館
鳴滝紀要 第26号 シーボルト記念館
館報 No. 28 2015年度報告 熊本市立熊本博物館
開館四十周年記念展 雪舟流と狩野派 細川家を魅了
した日本絵画の至宝 熊本県立美術館
平成27年度特別展(第34回) 日本犬聞録 イヌと
人の歴史 大分市歴史史料館
『おおいた 春夏秋冬 くらしの行事』
大分市歴史史料館
大分県仏教美術調査報告 2・3 大分県立歴史博物館
年報 2015 大分県立歴史博物館
研究紀要 17 大分県立歴史博物館
報告書第17集 豊後國山香郷の調査 本編
大分県立博物館
特別展 今昔、日本の妖怪 ～百鬼夜行からゲゲゲま
で～ 宮崎県総合博物館
史料集 第五号 「都城島津家役所日記 五」日帳
寛文十年 自正月 至五月(一)
都城島津伝承館
年報 No. 45 宮崎県総合博物館
研究紀要 第36輯 宮崎県総合博物館
総合調査報告書 県南地域調査報告書
宮崎県総合博物館
調査報告書 第12集 鹿児島大学構内遺跡(郡元団地
H・I-8区) 理学部2号館増築工事(釘田第8点)
【弥生時代～古墳時代河川跡:木製品編】
鹿児島大学埋蔵文化財調査センター
Koreana 秋号2016 韓国国際交流財団

4. 資料の貸出

本年度の資料の館外貸出(展覧会への出陳等)は、41件であった。貸出先、展覧会名称、会期、貸出資料等は以下の通りである。

●わかやま歴史館

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

- ・陸奥宗光七絶詩書「録岳飛詩」はじめ 29件

●和歌山県立博物館

特別展「戦乱の世から泰平の世へ—16～17世紀の紀北・泉南地域」展

(平成28年9月10日～10月10日)

- ・信長記 小瀬甫庵著 8冊
- ・鉄錆地雑賀鉢兜 1頭
- ・鉄錆地銀象嵌六枚張雑賀鉢兜 1頭
- ・メルカトル世界図 1面

●有田市郷土資料館

特別展「小説 有田川の世界」展

(平成28年10月1日～11月27日)

- ・滑稽秋の空 1冊
- ・南紀男山焼 染付橘文向付 1口
- ・日本交通分県地図 和歌山県 1枚

●黒川古文化研究所

秋季展観「武士が描いた絵画」展

(平成28年10月15日～11月27日)

- ・祇園南海 冬景山水図 1幅
- ・野呂介石 台山跡略記 1巻
- ・崖南嶠 雅人集会図 1幅

●彦根城博物館

特別展「コレクター大名 井伊直亮—知られざる大コレクションの全貌—」展

(平成28年10月28日～11月27日)

- ・赤楽加賀光悦写茶碗 二代弥介作 1口
- ・菓子木型 蟠桃 1合

5. 映像資料概要

本館の常設展示室には、原始・古代・中世・近世・近代の各コーナーに5台のビデオ放映器(VTD)と、民俗コーナーに1台のビデオプロジェクターを設置している。

VTDは、シリコンディスク使用のパソコンとタッチパネル式の19インチモニターを採用し、モニター画面を手で触れることで映像を選

択できるようになっている。

ビデオプロジェクターもシリコンディスク仕様のパソコンと 100 インチの平面スクリーンを設置し、照光式のボタン式スイッチで映像を選択できるようになっている。

映像については、それぞれ 3 分前後の内容を数本収録し、視覚的な紹介をしている。

・常設展示室各コーナー収録番組

原始：弥生時代の太田・黒田遺跡

太田・黒田の銅鐸

大谷古墳の発掘

古代：奈良時代のくらし—木簡はかたる

古代和歌山の仏教

万葉集—笠朝臣金村の長歌—

大同寺の蔵骨器

中世：栢田（笠田）荘の荘園絵図

中世の遺跡をたずねて

津田監物と鉄砲

雑賀鉢の謎

絵画に見る太田城水責め

近世：あるくみる城下町

和歌山城の門

八代将軍徳川吉宗—その武と雅—

城下町和歌山の文化

紀州藩と茶道

紀州の黒船ディアナ号

近代：昭和初年への旅立ち

—その頃の和歌山は—

戦争で子どもたちまで勤労働員

和歌山大空襲

和歌山城の再建

民俗：雛流し 淡島神社

和歌祭 紀州東照宮

茅の輪祭 伊太祁曾神社

団七踊 岡崎団七踊保存会

木ノ本の獅子舞 木本八幡宮

Ⅲ 平成 29 年度の展望

1. 平成 29 年度事業予定概要

平成 26 年度に博物館の基本的運営方針を策定し、27 年 4 月からホームページにおいて和歌山市立博物館基本的運営方針を公開している。

そして、27 年度から、この基本的運営方針に従って博物館を運営し、点検し、評価を受けて、開かれた博物館をめざして活動している。

常設展

常設展は、開館以来、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマに和歌山市域を対象とした通史的な展示を行っている。常設展示室にはコーナー展示といって、2 か月ごとに大幅な展示替えをする展示ケースを 2 か所に設けている。それぞれ年 5 回、下記のとおり展示替えを行っている。

そのほか、玄関ホールでは 7 月 8 日～8 月 20 日に「和歌山大空襲」、12 月 5 日～24 日に「寄贈資料展」など、その時々タイムリーなホール展示を開催し、収蔵資料を公開する機会を増やしている。

コーナー展示

- ・3 月 28 日～6 月 4 日「南方熊楠と和歌山」・「『紀伊国名所図会』の出版本屋・帯屋」
- ・6 月 6 日～8 月 6 日「ここはどこ？本町周辺の古写真」・「雑賀の兜」
- ・8 月 8 日～10 月 1 日「近世の日本地図」・「紀州徳川家伝来の絵画」
- ・10 月 3 日～12 月 3 日「藩主からの拝領品」・「加太と葛城修験」
- ・12 月 5 日～3 月 25 日「絵画にみる米づくり」・「発掘物語—城下町の調査—」

特別展

本年度も昨年度と同じく夏と秋の 2 回、特別展を行う。

夏季特別展は、「美尽し善極める—駿河屋の菓子木型—」をテーマに 7 月 22 日から 8 月 27 日まで開催する。駿河屋は、紀州徳川家のお菓子御用を一手に引き受けた菓子商で、数多くの落雁の菓子木型が残されている。展覧会ではその菓子木型や菓子の絵手本を一堂に集め、その造形美や木型にみる和歌山の歴史や菓子文化を紹介する。

秋季特別展は、「幕末の紀州藩」と題して、10 月 21 日から 11 月 26 日まで開催する。今年は江戸幕府最後の将軍徳川慶喜が政権を朝廷に返上した大政奉還から 150 年を迎える。それを記念して、激動の幕末に活躍した紀州藩出身の 14 代将軍徳川家茂、陸奥宗光、新選組隊士矢田賢之助などに関する資料を展示し、彼らの活動を紹介する。

企画展

収蔵資料を中心として、春と冬の 2 回、企画展を開催する。

春季企画展は、「紀州の風景—和歌の浦を中心に—」をテーマに、4 月 22 日から 6 月 4 日まで開催する。和歌の浦をはじめとして加太・友ヶ島、熊野浦などの海岸風景、神社の社頭や寺院の門前、城下の賑わいをえがいた絵図や城下町の地図など、紀州のさまざまな名所、景勝地をえがいた絵図を一堂に展示する。

冬季企画展「歴史を語る道具たち」は、1 月 10 日から 3 月 4 日まで開催する。この展覧会は、市民から寄贈された生活道具や農機具等の民具を展示し、昔のくらしの実態を示すとともに、それらの民具を通じて、人びとの生活の智慧と工夫を理解してもらうものである。本展は、学校教育との連携で、小学校 3 年生の社会科の授業に関連させた企画で、毎年この時期に開催している。

古文書講座

本年度は、古文書講座「かなを読む—和歌を題

材に一」を、第1回の5月14日から毎月第2日曜日に連続して実施し、計10回の予定である。博物館に寄託されている玉津島神社に奉納された和歌をテキストとして、かな文字のくずし字を解説し、和歌に親しんでもらう。

市博講座

教育普及事業として、今年は古文書講座のほか市博講座を2回、土曜日の午後2時から開催する。

夏は7月8日に映画上映会として、映画「和歌山大空襲」と「空襲体験絵巻」を上映し、ホール展示と常設展で展示している空襲関係の資料を解説する。

秋は美術講座「紀州徳川家と美術」と題して、当館に収蔵している紀州徳川家関係の美術資料を以下のとおり3回にわたって紹介する。

- 9月9日 「紀州徳川家伝来の美術」
- 9月16日 「紀州徳川家歴代の絵画」
- 9月23日 「南葵文庫と紀州徳川家」

冬は歴史講座「ここまで分かった紀州の戦国時代」を統一テーマに、次の3回を開催する。

- ・3月3日 「発掘調査成果から探る紀州の戦国時代」
- ・3月10日 「雑賀衆と戦国時代の紀州」
- ・3月17日 「太田城水攻めと和歌山城築城」

体験学習

教育普及事業の一環として、伝統的なくらしを体験してもらうために、本年度は次の6回の体験学習を開催する。

- ・8月7日 休館日の博物館を探検しよう
- ・8月24日 古墳の立体模型をつくろう
- ・8月26日 ゴムてっぼうを作って遊ぼう
- ・1月20日 どうして遊ぶ？昔の遊び
- ・2月17日 蓄音機で聴くあのころの音楽
- ・2月24日 どうして遊ぶ？昔の遊び

史跡散歩

史跡散歩は市内の史跡や文化財に親しんでもらうため、毎年開催している。今年は5月28日に「南方熊楠ゆかりの地を歩く」、10月14日に「加太を歩く」と題してまち歩きを行う。今年は南方熊楠生誕150年に当たり、生誕地の和歌山の熊楠ゆかりの地を歩いてめぐる。

また、加太は地元の語り部の方に協力していただき、加太の文化財を紹介する。

校区探検

当館では、公立学校の週5日制の導入に対応して、市内小学校及び校区子どもセンターと協力し、校区内の歴史的スポットを見学する校区探検を開催している。本年度は、秋に広瀬小学校区で開催する予定である。

調査研究

本年度は、特別展「美尽し善極める一駿河屋の菓子木型」及び「幕末の紀州藩」に関する調査研究を中心に行い、その成果はそれぞれの展示図録に反映させる。

また、特別展の年次計画に基づいて、平成29年度の展覧会の調査を進めていく。それ以降の年度に開催する予定の展覧会についても基礎調査を開始する。

そのほか、館蔵資料及び関連資料の調査研究を進め、その成果を『研究紀要』に掲載する。

資料収集

展示資料購入費によって、計画的に資料の購入を行っている。本年度は、南方熊楠達磨図や岩瀬広隆加太浦図などの購入を予定している。また、収蔵資料の充実を図るために、資料の寄贈・寄託を積極的にすすめていく。

資料の保存環境を維持するため、当館では毎年、燻蒸（消毒）を実施している。本年度は、3階特別収蔵庫及び常設展示室の燻蒸を、6月19日～26日に実施する。

市史関係資料の管理

保管している市史関係資料の整理を進め、資料的価値が高い文書史料の翻刻を行い、『和歌山市史研究』46号に掲載する。

博物館実習

各大学からの依頼を受けて、毎年、博物館実習生を受け入れている。本年度は、8月22日から26日までの5日間、博物館実習を行う。なお、受け入れに関する要項は、前掲の「博物館実習生受け入れに関する内規」のとおりである。

2. 平成29年度博物館当初予算

歳入 (単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	節	
				区 分	金 額
教育使用料	1,150	1,120	30	博 物 館 使 用 料	1,150
基金収入	2	3	△1	博 物 館 振 興 基 金 収 入	2
雑入	1,914	1,982	△68	博 物 館 図 録 等 販 売 収 入	1,914

歳出 (単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳				節	
				特定財源			一般財源	区 分	金 額
				国県 支出金	地方債	その他			
11 博物館費	104,633	108,556	△3,923			3,066	101,567	1 報 酬	140
								2 給 料	21,254
								3 職 員 手 当 等	14,028
								4 共 済 費	7,188
								8 報 償 費	455
								9 旅 費	791
								11 需 用 費	27,799
								12 役 務 費	1,926
								13 委 託 料	28,622
								14 使 用 料 及 び	307
								賃 借 料	
								18 備 品 購 入 費	2,056
								19 負 担 金 , 補 助 及 び 交 付 金	51
								25 積 立 金	2
								27 公 課 費	14

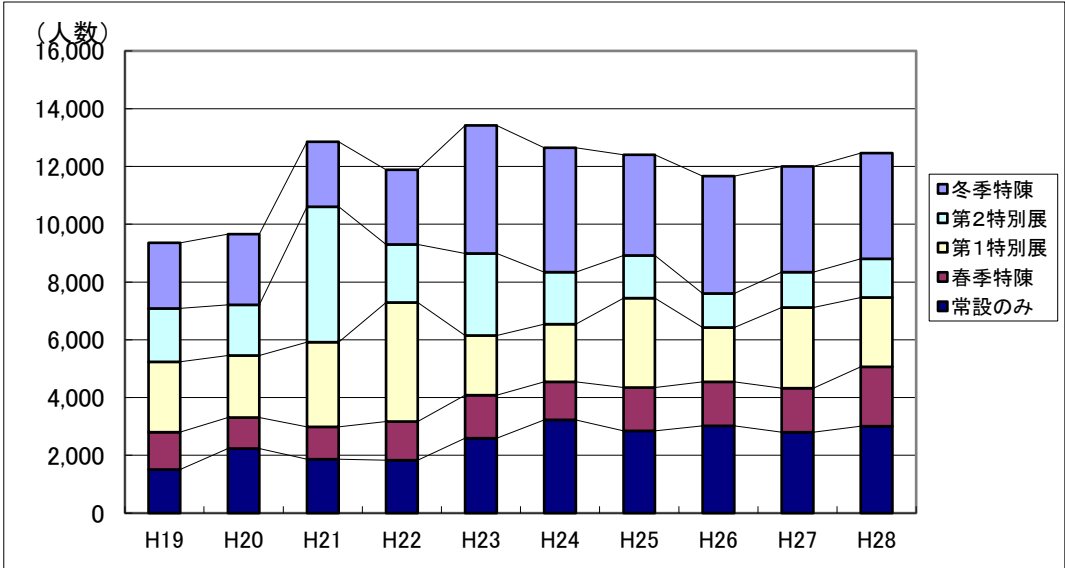
IV 資料
○入館者の動向

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	開館		個 人			団 体			無 料 入館者 (含団体)	合 計	1日 平均	備 考
	日数		一般/大	小中高	小計	一般/大	小中高	小計				
平成28年	4月	25	231	0	231	0	0	0	342	573	22.9	特別陳列
	5月	25	478	0	478	0	0	0	1,118	1,596	63.8	4/16～5/29
	6月	20	129	0	129	0	0	0	189	318	15.9	
	7月	27	241	0	241	34	0	34	593	868	32.1	特別展
	8月	26	254	0	254	0	0	0	672	926	35.6	7/16～8/21
	9月	25	183	0	183	34	0	34	360	577	23.1	
	10月	27	309	0	309	21	0	21	942	1,272	47.1	特別展
	11月	24	290	0	290	0	0	0	1,645	1,935	80.6	10/22～11/27
	12月	22	117	0	117	0	0	0	236	353	16.0	
平成29年	1月	23	154	0	154	0	0	0	1,332	1,486	64.6	特別陳列 1/11～2/26
	2月	24	192	0	192	0	0	0	1,976	2,168	90.3	
	3月	27	119	0	119	0	0	0	181	300	11.1	
合計		295	2,697	0	2,697	89	0	89	9,586	12,372	41.9	

過去10年間の入館者数の変化

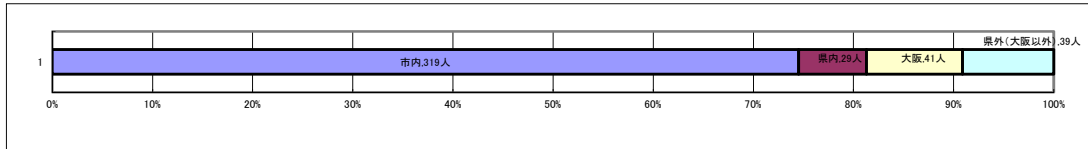
	常設のみ	春季特陳	第1特別展	第2特別展	冬季特陳	総入館者数
平成19		土の中からの贈り物、(併設)戦争中の暮らしと子どもたち	南海の鎮・和歌山城	歴史のなかの鉄炮伝来	歴史を語る道具たち	
	1,513	1,294	2,434	1,848	2,268	9,357
平成20		近世書画の美	岩瀬広隆	南紀男山焼	歴史を語る道具たち	
	2,242	1,063	2,152	1,752	2,449	9,658
平成21		発掘土器ドキ！昔の和歌山	南方熊楠の世界	写真に見る戦後の和歌山	歴史を語る道具たち	
	1,865	1,121	2,928	4,696	2,251	12,861
平成22		紀州藩の士族たち	紀州徳川家のお姫様	よみがえる和歌山の縄文世界	歴史を語る道具たち	
	1,831	1,335	4,131	2,001	2,590	11,888
平成23		心の旅・全国の郷土玩具展	祇園南海とその時代	川端龍子と和歌山	歴史を語る道具たち	
	2,589	1,499	2,067	2,837	4,427	13,419
平成24		新収蔵庫展 博物館のたからもの	ヘンリー杉本とその時代	華岡青洲の医塾 春林軒と合水堂	歴史を語る道具たち	
	3,226	1,319	1,998	1,805	4,301	12,649
平成25		「博物館へ花見に行こう」	「市電が走っていた街」	「海人の世界」	歴史を語る道具たち	
	2,851	1,496	3,093	1,474	3,487	12,401
平成26		わかやま歴史再発見	江戸時代を観光しよう	荘園の景観と絵図	歴史を語る道具たち	
	3,025	1,525	1,881	1,175	4,062	11,668
平成27		古文書から探れ！	表千家と紀州徳川家	近代スポーツと国民体育大会	歴史を語る道具たち	
	2,806	1,525	2,787	1,223	3,661	12,002
平成28		徳川吉宗と紀州の明君	城下町和歌山の絵師たち	玉津島一衣通姫と三十六歌仙一	歴史を語る道具たち	
	3,004	2,062	2,398	1,336	3,572	12,372



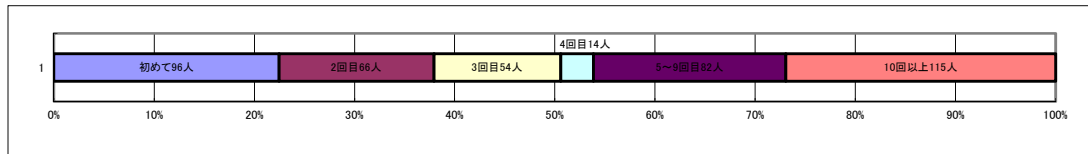
○アンケートの集計

平成28年度の2回の特別展開催時に回収されたアンケートの集計結果を提示する。
期間中の総入館者は3,734名、アンケート数は450通(回収率:12.0%)。

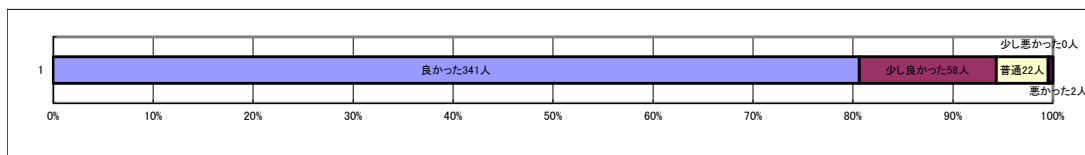
1. どちらから来られましたか？



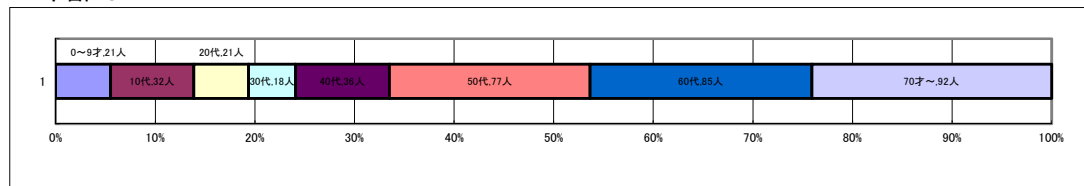
2. 来館は何回目ですか？



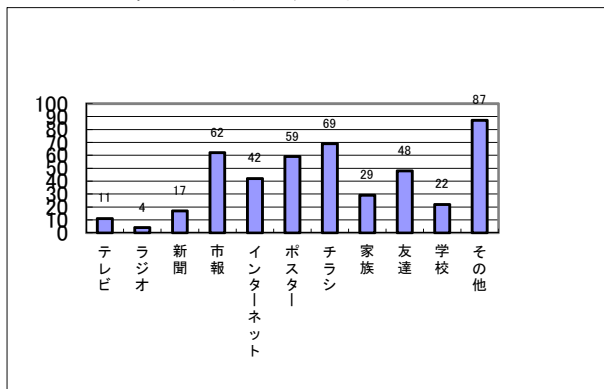
3. 展示はいかがでしたか？



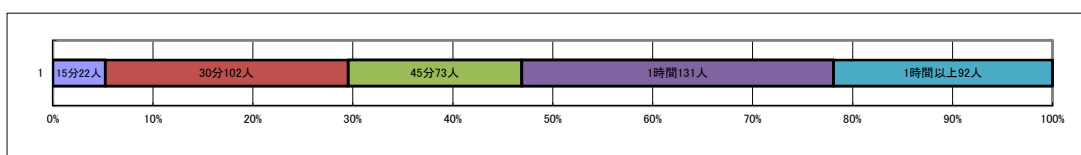
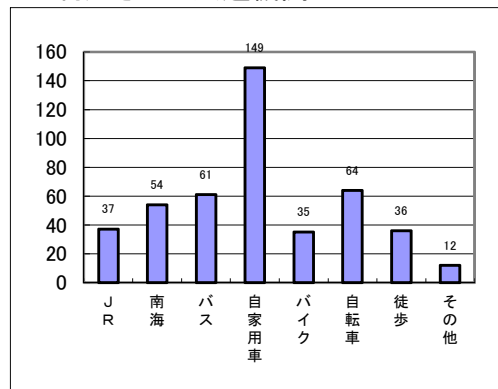
4. 年齢は？



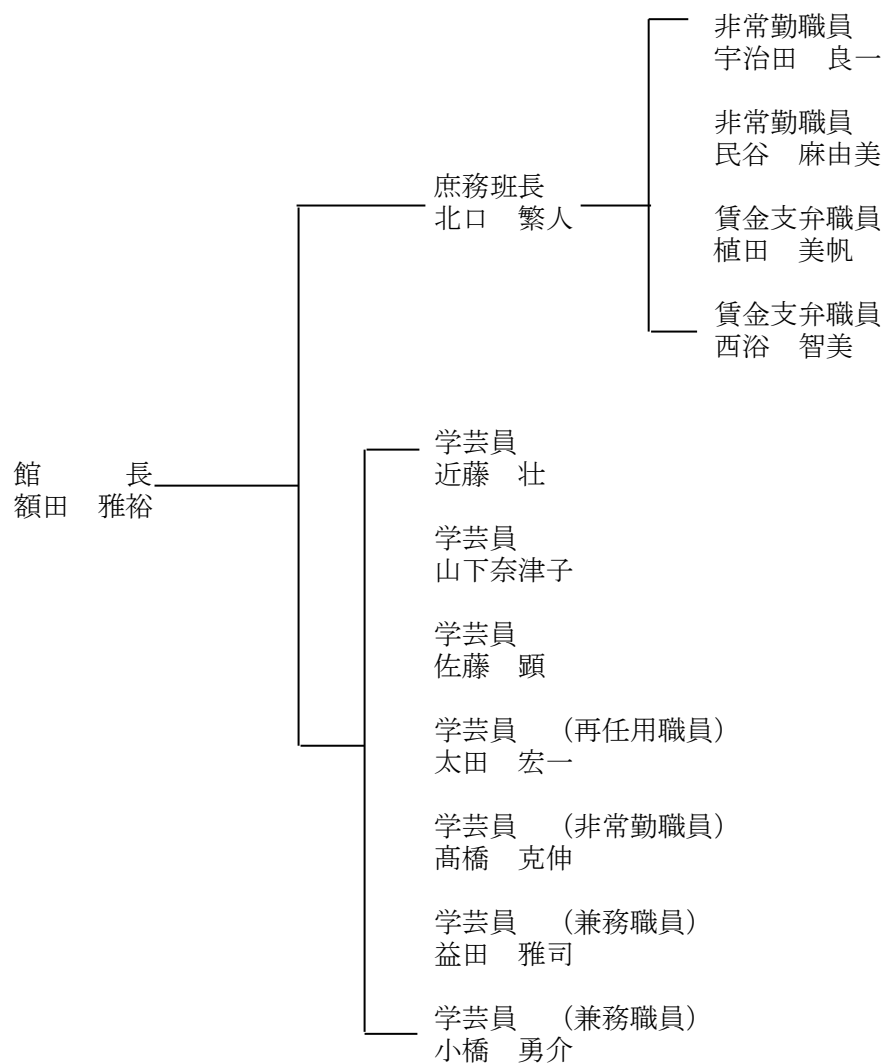
5. どのようにしてお知りになりましたか？



6. 利用された交通機関は？



○館機構（平成 29 年 4 月 1 日現在）



○博物館職員（平成 29 年 4 月 1 日現在）

館長	額田 雅裕		
総括学芸員	太田宏一（平成 29. 3. 31 退任）	庶務班長	北口繁人
学芸員	益田雅司（兼務職員）	非常勤職員	宇治田良一
学芸員	近藤 壮	非常勤職員	岩尾光葉
学芸員	山下奈津子		（平成 29. 3. 31 退任）
学芸員	佐藤 顕	非常勤職員	民谷麻由美
学芸員	小橋勇介（兼務職員）	賃金支弁職員	植田美帆
学芸員	太田宏一（再任用職員 平成 29. 4. 1 着任）	賃金支弁職員	西浴智美
学芸員	高橋克伸（非常勤職員）		

○和歌山市立博物館協議会委員名簿

◎印 会長

○印 副会長

平成29年4月1日現在

	氏 名	役 職	備 考
学 校 教 育 の 関 係 者	内田 敏夫	和歌山市立小学校長会会長	H28・12・18再任
	中村 善弘	和歌山市立中学校長会会長	H28・12・18再任
社 会 教 育 の 関 係 者	楠山 繁	和歌山文化協会 会長	H28・12・18再任
	南 正晃	和歌山陸上競技協会 専務理事	H28・12・18再任
家庭教育の向 上に資する活 動を行う者	堰本 信子	和歌山市婦人団体連絡協議会 会長	H28・12・18再任
学 識 経 験 の あ る 者	上村 雅洋	和歌山大学経済学部教授	H28・12・18再任
	仲山 友章	日本放送協会和歌山放送局局長	H28・12・18再任
	島津 俊之	和歌山大学教育学部教授	H28・12・18再任
	高橋 隆博	関西大学名誉教授	H28・12・18再任
	○ 千森 督子	和歌山信愛女子短期大学教授	H28・12・18再任
	西本 昌弘	関西大学文学部教授	H28・12・18再任
	◎ 藤本 清二郎	和歌山大学名誉教授	H28・12・18再任
	野嶋 広子	和歌山市議会議長	H28・12・18再任

○和歌山市立博物館条例

昭和60年7月18日

条例第17号

改正 平成元年12月21日条例第66号

改正 平成9年3月27日条例第18号

改正 平成12年3月27日条例第24号

改正 平成19年3月22日条例第13号

改正 平成20年12月24日条例第68号

改正 平成23年12月19日条例第40号

改正 平成24年3月23日条例第23号

改正 平成26年3月24日条例第48号

改正 平成27年3月19日条例第31号

(設置)

第1条 本市は、郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、博物館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
和歌山市立博物館	和歌山市湊本町3丁目2番地

(事業)

第3条 博物館は、法第3条第1項に定める事業その他必要な事業を行う。

(入館料)

第4条 常設展の入館料の額は、100円（20人以上の団体にあっては、1人につき80円）とする。

2 特別展の入館料の額は、2,000円とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、減額することができる。

3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる者の入館（常設展に係るものに限る。）は、無料とする。

(1) 学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校（大学及び高等専門学校（第4学年及び第5学年に限る。）を除く。）をいう。第4号において同じ。）に在学する学生、生徒、児童又は幼児（同号において「学

生等」という。）

(2) 認定こども園（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。第4号において「認定こども園法」という。）第2条第6項に規定する認定こども園をいう。第5号において同じ。）の園児（以下この項において単に「園児」という。）

(3) 小学校就学前の者（第1号に規定する幼児及び園児を除く。）

(4) 学生等又は園児を教育課程に基づく教育活動又は保育に係る活動において引率する当該学生等が在学する学校又は当該園児が在籍する幼保連携型認定こども園（認定こども園法第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。次号において同じ。）の教員（学校教育法第7条（認定こども園法第26条において準用する場合を含む。）に規定する教員をいう。）

(5) 保育所に入所している児童又は園児を保育に係る活動において引率する当該児童が入所している保育所の保育士又は当該園児が在籍する認定こども園（幼保連携型認定こども園を除く。）の保育に従事する職員

4 入館料は、前納しなければならない。

(入館料の減免)

第5条 市長は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

(資料の特別使用)

第6条 博物館資料について、刊行物に掲載し、又は展示することを目的として、撮影し、若しくは複写し、又は博物館資料に係る写真原板等の貸与若しくは画像等の提供を受けること（以下「特別使用」という。）をしようとする者は、あらかじめ教育委員会に申請し、その許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしない。

(1) 博物館資料の保全上支障があるとき。

(2) 博物館の管理上支障があるとき。

(3) 特別使用に係る博物館資料が寄託された

ものである場合に、前項の規定による申請をする者（次号において「申請者」という。）が当該博物館資料を寄託した者の同意を得ていないとき。

(4) 特別使用に係る博物館資料に著作権者がある場合に、申請者が当該著作権者の同意を得ていないとき。

(5) その他教育委員会が不適当と認めるとき。

3 教育委員会は、第 1 項の許可に必要な条件を付することができる。

4 第 1 項の許可を受けた者（次条において「特別使用者」という。）は、別表に定める額の使用料（以下「特別使用料」という。）を前納しなければならない。

5 市長は、学術研究その他の公益性の高い目的を達成するために特別使用をする必要があると認めるときは、特別使用料を免除することができる。

（特別使用の許可の取消し等）

第 7 条 教育委員会は、特別使用者が前条第 3 項の規定により許可に付された条件に違反したときは、当該許可を取り消し、又は特別使用を制限し、若しくは停止させることができる。

（入館料等の不還付）

第 8 条 既納の入館料及び特別使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館等の制限）

第 9 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物又は動物を携帯する者

(3) 建物又は附属設備若しくは備品（以下「建物等」という。）を損傷し、又は滅失するおそれがある者

(4) 次条の規定に違反した者

（行為の禁止）

第 10 条 博物館においては、次に掲げる行為を

してはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生ずるおそれがある行為をすること。

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為をすること。

(3) 建物等を損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれがある行為をすること。

(4) 所定の場所以外の場所で飲食し、又は喫煙すること。

(5) その他管理上支障がある行為をすること。

（損害の賠償）

第 11 条 何人も、建物等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会の設置）

第 12 条 法第 20 条第 1 項の規定に基づき、和歌山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（委員の任命の基準）

第 13 条 協議会の委員の任命は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちからこれを行うものとする。

（委員の定数）

第 14 条 委員の定数は、15 人以内とする。

（委員の任期）

第 15 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第 16 条 協議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

（会議）

第 17 条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 協議会は、必要に応じて開催するものとする。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、あらかじめ会議の日時、場所及び付議すべき

事項を示して委員に通知しなければならない。
ただし、急施を要する場合は、この限りでない。

- 4 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 5 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 18 条 協議会の庶務は、生涯学習部において処理する。

(規則への委任)

第 19 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表（第 6 条関係）

特別使用料

区分	単位	使用料
博物館資料の撮影又は複写（博物館資料の貸与を伴うものを含む。）	1点1回	2,050円
博物館資料に係る写真原板の貸与	1枚1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報を収録した光ディスク等の貸与	1画像1回	2,050円
博物館資料に係る写真の提供	1点1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報の電磁的方法による提供	1画像1回	2,050円

備考 複数の物で構成されるものであっても、博物館資料を分類する上で1点として取り扱うものは、1点とする。

○和歌山市立博物館条例施行規則

昭和 60 年 11 月 1 日

教委規則第 3 号

改正 平成元年 12 月 21 日条例第 66 号

改正 昭和 61 年 10 月 6 日教委規則第 4 号

改正 昭和 62 年 3 月 31 日教委規則第 22 号

改正 平成 3 年 3 月 30 日教委規則第 15 号

改正 平成 4 年 3 月 2 日教委規則第 3 号

改正 平成 4 年 4 月 8 日教委規則第 7 号

改正 平成 5 年 3 月 29 日教委規則第 2 号

改正 平成 8 年 3 月 22 日教委規則第 11 号

改正 平成 12 年 3 月 31 日教委規則第 28 号

改正 平成 19 年 3 月 15 日教委規則第 4 号

改正 平成 21 年 3 月 19 日教委規則第 5 号

改正 平成 24 年 2 月 15 日教委規則第 3 号

改正 平成 29 年 2 月 24 日教委規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、和歌山市立博物館条例（昭和 60 年条例第 17 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間等)

第 2 条 博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、入館は、午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その翌日）

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

(3) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

(入館料の納付)

第 4 条 条例第 4 条の規定により、入館料を納め

た者は、入館券（第 1 号様式）の交付を受けなければならない。

（特別展の入館料）

第 5 条 条例第 4 条第 2 項ただし書の規定により減額する場合における特別展の入館料の額は、特別展に要する費用の額その他の事情を考慮してその都度教育委員会が定める。

（入館料の減免）

第 5 条の 2 条例第 5 条に規定する特別の理由があるときは、次の各号に掲げる場合とし、同条の規定により減額する入館料の額又は免除は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。次条第 2 項において同じ。）の交付を受けている者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びそれらの者の介護人が介護のために入館するとき 免除

(2) 本市が発行する老人優待利用券の交付を受けている者が入館するとき 免除

(3) その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき 教育委員会が必要と認める額

（入館料の減免申請）

第 6 条 条例第 5 条の規定による入館料の減額又は免除を受けようとする者は、入館料減額、免除申請書（第 2 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定は、前条第 1 号又は第 2 号に該当する者については、適用しない。この場合において、同条第 1 号又は第 2 号に該当する者は、入館の際に同条第 1 号又は第 2 号に規定する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は老人優待利用券を提示しなければならない。

ない。

（入館料の還付）

第 7 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第 8 条ただし書の規定により入館料を還付するものとする。

(1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰することのできない特別な理由により入館できないとき。

(2) その他特別な理由があると認めたとき。

（入館者の遵守事項）

第 8 条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示している博物館資料（館長が特に指定したものを除く。）に触れないこと。

(2) 許可を受けないで展示している博物館資料の模造、模写又は撮影をしないこと。

(3) 展示室でインク、墨汁等を使用しないこと。

(4) その他係員の指示に従うこと。

（資料）

第 9 条 収集した資料は、資料番号を付番し、博物館資料として整理するものとする。

（資料の貸出し）

第 10 条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱上の安全性が確保されると認められるとき、又は特別使用のために必要と認められるときは、この限りでない。

2 前項ただし書の規定により博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出許可申請書（第 3 号様式）を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、館外貸出しに係る博物館資料が寄託されたものであるときは、博物館資料貸出許可申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定により博物館資料の館外貸出しを許可したときは、当該申請者に、博物館資料貸出許可書（第 4 号様式）を交付する。

（特別使用許可の申請及び許可）

第 11 条 条例第 6 条第 1 項の規定により特別使用

の許可を受けようとする者は、博物館資料特別使用許可申請書（第 5 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、特別使用の許可をしたときは、博物館資料特別使用許可書（第 6 号様式）を当該申請者に交付する。

（特別使用料の納付）

第 12 条 特別使用者は、博物館資料特別使用許可書の交付を受ける際に特別使用料を納付しなければならない。

（特別使用料の免除申請）

第 13 条 条例第 6 条第 5 項の規定により特別使用料の免除を受けようとする者は、第 11 条第 1 項に規定する申請の際に、博物館資料特別使用料免除申請書（第 7 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（特別使用料の還付）

第 14 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第 8 条ただし書の規定により特別使用料を還付するものとする。

(1) 特別使用者の責めに帰することのできない特別な理由により特別使用ができないとき。

(2) その他特別な理由があると認めたとき。

（特別使用者の遵守事項）

第 15 条 特別使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等は、条例第 6 条第 3 項の規定により教育委員会が特別許可の条件として貸与期間を指定したときは、その期間の末日までに返還すること。

(2) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等を損傷し、又は滅失しないように適正に管理すること。

(3) その他教育委員会の指示に従うこと。

（雑則）

第 16 条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

平成 28 年度

和歌山市立博物館館報 32

平成 29 年 7 月 28 日発行

編集 和歌山市立博物館
和歌山市湊本町 3 丁目 2
TEL 073-423-0003
FAX 073-432-9040
発行 和歌山市教育委員会
和歌山市七番丁 23